

報告第 1 号

平成 29 事業年度に係る業務実績及び評価結果

地方独立行政法人くまもと県北病院機構（公立玉名中央病院）

1. 公立玉名中央病院の現況

(1) 法人名 地方独立行政法人くまもと県北病院機構

(2) 本部所在地 熊本県 玉名市中 1950 番地

(3) 役員状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏名	備考	任期
理事長	中野 哲雄	公立玉名中央病院 病院長	4 年
副理事長	牛島 正人	公立玉名中央病院 副院長	4 年
理事	津田 恵美	公立玉名中央病院 看護部長	2 年
理事	池上 隆博	公立玉名中央病院 事務部長	2 年
監事	吉永 賢一郎		2 年
監事	浦田 修治		2 年

(4) 設置・運営する病院

病院名	公立玉名中央病院
主な役割及び機能	急性期医療を担う地域における中核病院 地域医療支援病院 救急告知病院 基幹型臨床研修病院 災害拠点病院 日本医療機能評価機構認定病院
所在地	〒865-0064 熊本県玉名市中 1950 番地
開設年月日	昭和 56 年 4 月 1 日
許可病床数	302 床 [一般 262 床、回復期リハ 40 床]
診療科	呼吸器内科・神経内科・内科・アレルギー科・循環器内科・代謝内科・消化器内科・腎臓内科・糖尿病内科・内分泌内科・泌尿器科・小児科・婦人科・皮膚科・放射線科・麻酔科・外科・整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科・乳腺外科・内分泌外科・血液内科・病理診断科・(総合診療科)
敷地面積	16,320 m ²
建物規模	病棟、診療棟、管理部門 鉄筋コンクリート 6 階建 (建築面積 4,686 m ² 延床面積 18,123 m ²)
併設機関	健診センター、訪問看護ステーション 居宅介護支援事業所、病児病後児保育施設

(5) 職員数 正規職員 425 人、非正規職員 157 人 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

2. 公立玉名中央病院の基本的な目標

法人の総括と課題

当地域では 2013 年 11 月に「玉名地域医療体制づくり推進本部」を玉名市役所に設置し、各種関係団体の代表者を交えた協議会や部会等により「人に寄り添う玉名地域医療体制づくり」を念頭に住民アンケートを踏まえて協議を重ねてきた。

地域完結型で地域住民に必要なとされる医療提供を目的とし、玉名地域保健医療センターと公立玉名中央病院を統合することにより、質の高い医療提供が可能になるという結論に達し 2016 年 8 月 16 日に経営統合の基本合意に至り、公立玉名中央病院の経営形態を 2017 年 10 月 1 日地方公営企業法全部適応から地方独立行政法人へ変更し、2018 年 4 月に一般社団法人玉名郡市医師会立玉名地域保健医療センターと経営統合することが決定した。

また、総病床数 402 床の新病院建設事業も 2021 年 4 月の開院に向けて進行中であり、完成までの 3 年間は 2 病院体制で急性期から慢性期までの地域医療の提供を継続する。

本事業報告書の対象期間の平成 29 年 10 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの 6 ヶ月間は地方独立行政法人としての第 1 期中期計画の 1 年目であり地方独立行政法人の特徴である自律性、自主性を最大限に発揮し迅速かつ柔軟な対応と効率的な病院経営を念頭に年度計画に基づき各項目毎に行動計画を作成しその達成に向けて業務に取り組んだ。

総括すると病院経営の最重要課題である医師の確保については、常勤医師数を平成 28 年度の 50 名から 64 名へと増員することができた。結果として血液内科の新設、皮膚科医師の常勤化、腎臓内科・循環器内科・総合診療科それぞれの医師増員による機能強化ができた。

患者サービスの向上を目的とし業務改善委員会を中心に患者満足度調査を実施し職員の対応や施設・設備関係、待ち時間等のアンケート結果や院内各所に設置しているご意見箱の投書等により改善改良に努めた。その内容は、職員の接遇指導は勿論のこと施設・設備関係では、見えにくい・分かりづらいとのご意見を受け、院内表示板の文字を大きくし統一感のあるものに変更した。また、院内の洋式トイレ全てに温水機能を備えたウォシュレットを設置し快適な医療環境の提供に努めた。

2018 年 4 月の経営統合にむけては、2017 年 12 月 7 日に一般社団法人玉名郡市医師会及び地方独立行政法人くまもと県北病院機構の事業譲渡契約書締結を経て、許認可を含めた各種届け出も滞りなく完了し経営統合が成立した。

今後はそれぞれの病院の医療資源の集約化により病院機能の向上並びに効率的・効果的な病院運営を行うと共に、地域の基幹病院としての役割を担う。

なお、新病院は地域医療構想も踏まえて現在の 2 病院 452 床より 50 床減の 402 床となることから、計画的な患者コントロールや近隣の医療機関等との連携や協力体制強化も継続して取り組むこととする。

本報告書では、当該年度計画の小項目ごとの進捗状況について次の 5 段階で法人による自己評価を実施する。5.(年度計画を大幅に上回って実施している) 4.(年度計画を上回って実施している) 3.(年度計画を順調に実施している) 2.(年度計画を十分に実施できていない) 1.(年度計画を大幅に下回っている)

項目別の状況

第1 事業報告の対象期間は平成 29 年 10 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの 6 ヶ月間である。

第 2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 提供する医療サービスの充実 (1) 救急医療の充実

中期目標	公立玉名中央病院は玉名地域で発生する救急搬送の約半数を受け入れており、地域の救急医療において不可欠な存在となっている。 今後も地域の中心的な救急病院として救急受入体制を整備し機能の充実を図るとともに、地域の医療機関との協力体制や有明広域消防本部との連携強化に取り組むこと。
------	---

中期計画	年度計画	法人の自己評価																																																																				
		評価の判断理由(実施状況等)	評価																																																																			
<p>(1)救急医療の充実</p> <p>地域の救急医療へのニーズに対応するため、救急専門の常勤医師の確保など救急患者の受け入れに必要な体制の整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 早期の治療が必要とされる脳卒中患者の受入について、総合診療科と神経内科医師及び救急外来専従の非常勤医師等により段階的な受入強化に努める。 地域の医療機関との協力や有明広域消防本部との連携によって二次救急体制の強化を図る。 対応が困難な三次救急については、熊本市内の三次救急病院と連携し、必要な診断や処置を行い搬送することによって、迅速かつ適切な対応を行う。 <p>救急医療に関する実績(公立玉名中央病院分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25 年度</th> <th>H26 年度</th> <th>H27 年度</th> <th>H28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急受入患者数</td> <td>14,336 人</td> <td>14,126 人</td> <td>14,333 人</td> <td>14,919 人</td> </tr> <tr> <td>救急車搬入件数</td> <td>2,162 件</td> <td>2,140 件</td> <td>2,082 件</td> <td>2,210 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>救急医療に関する目標値(公立玉名中央病院分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29 年度</th> <th>H30 年度</th> <th>H31 年度</th> <th>H32 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急受入患者数</td> <td>7,500 人</td> <td>15,500 人</td> <td>15,500 人</td> <td>15,500 人</td> </tr> <tr> <td>救急車搬入件数</td> <td>1,200 件</td> <td>2,300 件</td> <td>2,300 件</td> <td>2,300 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 平成 29 年度は平成 29 年 10 月から平成 30 年 3 月までの半期分</p>		H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	救急受入患者数	14,336 人	14,126 人	14,333 人	14,919 人	救急車搬入件数	2,162 件	2,140 件	2,082 件	2,210 件		H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	救急受入患者数	7,500 人	15,500 人	15,500 人	15,500 人	救急車搬入件数	1,200 件	2,300 件	2,300 件	2,300 件	<p>(1)救急医療の充実(重点項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年 4 月より平日日勤帯には救急外来専従の非常勤医師を配置しており、今後も救急体制の強化を図る。この事により不応需件数を減少させ、救急車搬入件数増を目指す。 とりわけ早急な治療が必要とされる脳卒中患者の受入については、国立病院機構熊本医療センター・荒尾市民病院との連携強化に取り組むと共に同疾患患者の動向について把握するためのデータ収集作業を行う。 <p>≪救急医療の充実に関する目標値≫</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>参考値 ※</th> <th>年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急受入患者数</td> <td>7,230 人</td> <td>7,500 人</td> </tr> <tr> <td>救急車搬入件数</td> <td>1,070 件</td> <td>1,200 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>本期間は 6 ヶ月間のため、目標値は過去 3 年同期間の平均値(※)を参考に設定した。</p>	項目	参考値 ※	年度目標値	救急受入患者数	7,230 人	7,500 人	救急車搬入件数	1,070 件	1,200 件	<p>(1)救急医療の充実(重点項目)</p> <p>平成 29 年 4 月より熊本赤十字病院、熊本医療センターの協力のもと平日日勤帯の救急外来専従の非常勤医師を配置し総合診療科をバックアップとして救急医療の充実と不応需件数の減少に努めた。</p> <p>救急受入患者数並びに救急車搬入件数実績では、それぞれに 800 人、169 件と目標を大きく上回る患者を受け入れた。また、不応需件数を年間で 121 件減少できたことにより不応需率も前年の 11.3%から 5.5%へと改善した。</p> <p>≪救急医療の充実に関する目標値≫</p> <p>(平成 29 年度は平成 29 年 10 月から平成 30 年 3 月までの半期分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成 29 年度目標</th> <th>平成 29 年度実績</th> <th>計画との差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急受入患者数</td> <td>7,500 人</td> <td>8,300 人</td> <td>+ 800 人</td> </tr> <tr> <td>救急車搬入件数</td> <td>1,200 件</td> <td>1,369 件</td> <td>+ 169 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>≪救急車不応需件数の年度比較≫</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成 28 年度実績</th> <th>平成 29 年度実績</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車受入件数</td> <td>2,239 件</td> <td>2,506 件</td> <td>+ 267 件</td> </tr> <tr> <td>不応需件数</td> <td>285 件</td> <td>146 件</td> <td>- 121 件</td> </tr> <tr> <td>不応需率</td> <td>11.3 %</td> <td>5.5 %</td> <td>- 5.8 %</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成 29 年度目標	平成 29 年度実績	計画との差	救急受入患者数	7,500 人	8,300 人	+ 800 人	救急車搬入件数	1,200 件	1,369 件	+ 169 件	項目	平成 28 年度実績	平成 29 年度実績	比較	救急車受入件数	2,239 件	2,506 件	+ 267 件	不応需件数	285 件	146 件	- 121 件	不応需率	11.3 %	5.5 %	- 5.8 %	5
	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度																																																																		
救急受入患者数	14,336 人	14,126 人	14,333 人	14,919 人																																																																		
救急車搬入件数	2,162 件	2,140 件	2,082 件	2,210 件																																																																		
	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度																																																																		
救急受入患者数	7,500 人	15,500 人	15,500 人	15,500 人																																																																		
救急車搬入件数	1,200 件	2,300 件	2,300 件	2,300 件																																																																		
項目	参考値 ※	年度目標値																																																																				
救急受入患者数	7,230 人	7,500 人																																																																				
救急車搬入件数	1,070 件	1,200 件																																																																				
項目	平成 29 年度目標	平成 29 年度実績	計画との差																																																																			
救急受入患者数	7,500 人	8,300 人	+ 800 人																																																																			
救急車搬入件数	1,200 件	1,369 件	+ 169 件																																																																			
項目	平成 28 年度実績	平成 29 年度実績	比較																																																																			
救急車受入件数	2,239 件	2,506 件	+ 267 件																																																																			
不応需件数	285 件	146 件	- 121 件																																																																			
不応需率	11.3 %	5.5 %	- 5.8 %																																																																			

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 提供する医療サービスの充実 (2) 急性期医療の提供

中期目標	地域の急性期医療ニーズに対応すべく、高度で専門的な医療を提供し、より多くの急性期患者の医療が地域で完結できる体制を目指すこと。
------	---

中期計画	年度計画	法人の自己評価																																																																		
		評価の判断理由(実施状況等)	評価																																																																	
<p>(2)急性期医療の提供</p> <p>医療スタッフのレベルアップや常勤医師の確保など必要な体制整備を行い、急性期医療の充実および拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本大学病院をはじめとする熊本市内の三次救急医療機関との連携強化を推進する。 外科領域においては緊急手術への対応を含めた、提供出来る医療機能の充実に取り組む。 心カテ・内視鏡・人工呼吸器管理・緊急透析等の急性期医療を提供する。 <p>新入院患者数および手術に関する実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新入院患者数</td> <td>4,177人</td> <td>4,237人</td> <td>4,707人</td> <td>5,101人</td> </tr> <tr> <td>手術件数(手術室施行分)</td> <td>994件</td> <td>955件</td> <td>1,002件</td> <td>1,117件</td> </tr> </tbody> </table> <p>新入院患者数および手術に関する目標値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29*</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新入院患者数</td> <td>2,500人</td> <td>5,200人</td> <td>5,200人</td> <td>5,200人</td> </tr> <tr> <td>手術件数(手術室施行分)</td> <td>530件</td> <td>1,150件</td> <td>1,150件</td> <td>1,150件</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 平成29年度は10月から平成30年3月までの半期分</p>		H25	H26	H27	H28	新入院患者数	4,177人	4,237人	4,707人	5,101人	手術件数(手術室施行分)	994件	955件	1,002件	1,117件		H29*	H30	H31	H32	新入院患者数	2,500人	5,200人	5,200人	5,200人	手術件数(手術室施行分)	530件	1,150件	1,150件	1,150件	<p>(2)急性期医療の提供(重点項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月から、皮膚科・血液内科が新設され、さらに呼吸器内科・循環器内科・腎臓内科・整形外科・総合診療科の常勤医を増員しており、これらの領域の急性期医療を充実させる。 医療提供体制の増強を市町の広報誌等により住民への周知を計ると共に、連携だより等により開業医等への周知も行い、新規入院患者数、手術件数、心臓カテーテル実施件数の増加を図る。 平成28年6月より、消化器センターを充実させ内視鏡検査件数の増加に取り組んでおり、なお一層の強化を図る。 <p>《急性期医療の提供に関する目標値》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>参考値 ※</th> <th>H29年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規入院患者数</td> <td>2,340人</td> <td>2,500人</td> </tr> <tr> <td>手術件数(手術室施行分)</td> <td>512件</td> <td>530件</td> </tr> <tr> <td>心臓カテーテル実施件数</td> <td>124件</td> <td>150件</td> </tr> <tr> <td>内視鏡検査件数</td> <td>1,196</td> <td>1,300件</td> </tr> </tbody> </table> <p>本期間は6ヶ月間のため、目標値は過去3年同期間の平均値(※)を参考に設定した。</p>	項目	参考値 ※	H29年度目標値	新規入院患者数	2,340人	2,500人	手術件数(手術室施行分)	512件	530件	心臓カテーテル実施件数	124件	150件	内視鏡検査件数	1,196	1,300件	<p>(2)急性期医療の提供(重点項目)</p> <p>医師増員により平成29年4月から、血液内科を常勤医と非常勤医の2名体制にて新設した。また皮膚科ではこれまでの非常勤医師対応から常勤医2名体制とし提供する医療のを充実させた。</p> <p>さらに呼吸器内科・循環器内科・腎臓内科・整形外科・総合診療科の常勤医を増員しており、各診療科の急性期医療を充実させた。平成30年3月時点の医師数は研修医を含めた常勤医師69名と非常勤医師20名により地域医療の安定提供に努めている。</p> <p>医療提供体制の増強を市町の広報誌等により住民への周知を計ると共に連携だより等により開業医等への周知も行い、新規入院患者数、手術件数、心臓カテーテル実施件数の増加を図った結果、急性期医療の提供に関する項目別目標値をいずれも上回る結果であった。</p> <p>《急性期医療の提供に関する目標値》 (平成29年度は平成29年10月から平成30年3月までの半期分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H29年度目標</th> <th>H29年度実績</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規入院患者数</td> <td>2,500人</td> <td>2,765人</td> <td>+265人</td> </tr> <tr> <td>手術件数(手術室施行分)</td> <td>530件</td> <td>790件</td> <td>+260件</td> </tr> <tr> <td>心臓カテーテル実施件数</td> <td>150件</td> <td>164件</td> <td>+14件</td> </tr> <tr> <td>内視鏡検査件数</td> <td>1,300件</td> <td>1,437件</td> <td>+137件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	H29年度目標	H29年度実績	比較	新規入院患者数	2,500人	2,765人	+265人	手術件数(手術室施行分)	530件	790件	+260件	心臓カテーテル実施件数	150件	164件	+14件	内視鏡検査件数	1,300件	1,437件	+137件	4
	H25	H26	H27	H28																																																																
新入院患者数	4,177人	4,237人	4,707人	5,101人																																																																
手術件数(手術室施行分)	994件	955件	1,002件	1,117件																																																																
	H29*	H30	H31	H32																																																																
新入院患者数	2,500人	5,200人	5,200人	5,200人																																																																
手術件数(手術室施行分)	530件	1,150件	1,150件	1,150件																																																																
項目	参考値 ※	H29年度目標値																																																																		
新規入院患者数	2,340人	2,500人																																																																		
手術件数(手術室施行分)	512件	530件																																																																		
心臓カテーテル実施件数	124件	150件																																																																		
内視鏡検査件数	1,196	1,300件																																																																		
項目	H29年度目標	H29年度実績	比較																																																																	
新規入院患者数	2,500人	2,765人	+265人																																																																	
手術件数(手術室施行分)	530件	790件	+260件																																																																	
心臓カテーテル実施件数	150件	164件	+14件																																																																	
内視鏡検査件数	1,300件	1,437件	+137件																																																																	

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
 1 提供する医療サービスの充実 (3) がん医療の強化

中期目標 県内の急性期病院との連携や地域の病院との機能分化を図りながら、地域全体での幅広いがん医療提供体制を整備すること。

中期計画	年度計画	法人の自己評価																																																				
		評価の判断理由(実施状況等)	評価																																																			
<p>(3)がん医療の強化</p> <p>学会が示すガイドラインに応じた標準治療を提供するとともに、県内のがん診療連携拠点病院と「熊本県がん診療連携パス」を活用して治療に関する連携を強化し幅広い治療を提供していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 血液内科の新設により、より多くのがん患者を受け入れている。 がん薬物療法認定薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師、緩和ケア認定看護師、がん化学療法看護認定看護師等のがん診療の専門スタッフの育成と増員を図り、地域におけるがん診療の質の向上を目指す。 地域のかかりつけ医と連携し、治療から看取りまでの地域医療体制を強化する。 がん治療に伴う口腔内合併症の予防のため、医科・歯科連携の仕組みをつくる。 <p>連携する「がん診療連携拠点病院」(厚生局届出済)</p> <p>がん診療に関する実績(公立玉名中央病院分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん登録患者数</td> <td>124 例</td> <td>157 例</td> <td>160 例</td> <td>220 例</td> </tr> <tr> <td>化学療法件数</td> <td>475 件</td> <td>762 件</td> <td>698 件</td> <td>782 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>がん診療に関する目標値(公立玉名中央病院分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29*</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん登録患者数</td> <td>110 例</td> <td>230 例</td> <td>240 例</td> <td>240 例</td> </tr> <tr> <td>化学療法件数</td> <td>390 件</td> <td>800 件</td> <td>800 件</td> <td>800 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 平成 29 年度は 10 月から平成 30 年 3 月までの半期分</p>		H25	H26	H27	H28	がん登録患者数	124 例	157 例	160 例	220 例	化学療法件数	475 件	762 件	698 件	782 件		H29*	H30	H31	H32	がん登録患者数	110 例	230 例	240 例	240 例	化学療法件数	390 件	800 件	800 件	800 件	<p>(3) がん医療の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> H29 年に新設した血液内科を地域に周知し血液がん患者の受入れ増加を目指す。 がん治療に伴う口腔内合併症の予防のため、医科・歯科連携の仕組みをつくる。 治療、療養に関する全人的苦痛のサポートを、医師・認定看護師を中心とした緩和ケアチームで行う。 たまな在宅ネットワークと当院の共催で、地域の緩和ケア普及啓発活動を行う。 <p>《がん医療の強化に関する目標値》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>参考値 ※</th> <th>H29 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん登録患者数</td> <td>90 例</td> <td>110 例</td> </tr> <tr> <td>化学療法件数</td> <td>374 例</td> <td>390 例</td> </tr> </tbody> </table> <p>本期間は 6 ヶ月間のため、目標値は過去 3 年同期間の平均値(※)を参考に設定した</p> <p>連携する「がん診療連携拠点病院」(厚生局届出済)</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本大学医学部附属病院 熊本赤十字病院 ・済生会熊本病院 熊本中央病院 ・熊本地域医療センター 熊本再春荘病院 ・熊本市民病院 高野病院 ・国立病院機構熊本医療 くまもと森都総合病院 ・荒尾市民病院 	項目	参考値 ※	H29 目標値	がん登録患者数	90 例	110 例	化学療法件数	374 例	390 例	<p>(3) がん医療の強化</p> <p>H29 年 4 月に新設した血液内科を地域に周知し、血液がん患者の受入れ増を目指した。また、がん治療に伴う口腔内合併症予防のため、呼吸器内科・血液内科・消化器内科・外科・乳腺外科・泌尿器外科外来に医科歯科連携マニュアルを設置し、化学療法導入前の歯科受診を勧める仕組みを構築するとともに連携歯科のタイムリーな情報を電子カルテに掲示している。</p> <p>治療、療養に関する全人的苦痛のサポートを目的とした医師・認定看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・医療ソーシャルワーカーなど多職種による緩和ケアチームでは毎週水曜日に定期回診とカンファレンスを実施し、意志決定支援や継続的な精神的サポートを含め本事業期間内に 64 件の相談に対応した。</p> <p>また、たまな在宅ネットワークと当院の共催で、地域の緩和ケア普及啓発活動として毎月 1 回のネットワークミーティングと勉強会を開催し、緩和ケアの基本的な考え方を医療福祉関係者と共有した。</p> <p>《がん医療の強化に関する目標値》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H29 年度目標値</th> <th>H29 年度実績</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん登録患者数</td> <td>110 例</td> <td>182 例</td> <td>+ 72 例</td> </tr> <tr> <td>化学療法件数</td> <td>390 例</td> <td>497 例</td> <td>+ 107 例</td> </tr> </tbody> </table> <p>(平成 29 年度は平成 29 年 10 月から平成 30 年 3 月までの半期分)</p>	項目	H29 年度目標値	H29 年度実績	比較	がん登録患者数	110 例	182 例	+ 72 例	化学療法件数	390 例	497 例	+ 107 例	4
	H25	H26	H27	H28																																																		
がん登録患者数	124 例	157 例	160 例	220 例																																																		
化学療法件数	475 件	762 件	698 件	782 件																																																		
	H29*	H30	H31	H32																																																		
がん登録患者数	110 例	230 例	240 例	240 例																																																		
化学療法件数	390 件	800 件	800 件	800 件																																																		
項目	参考値 ※	H29 目標値																																																				
がん登録患者数	90 例	110 例																																																				
化学療法件数	374 例	390 例																																																				
項目	H29 年度目標値	H29 年度実績	比較																																																			
がん登録患者数	110 例	182 例	+ 72 例																																																			
化学療法件数	390 例	497 例	+ 107 例																																																			

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 提供する医療サービスの充実 (4) 小児医療

中期目標	県北地域の小児医療の拠点病院として提供する医療の充実を図ること。
------	----------------------------------

中期計画	年度計画	法人の自己評価																	
		評価の判断理由(実施状況等)	評価																
<p>(4) 小児医療</p> <p>県北地域の拠点となる病院として、充実した常勤医師体制を今後も維持し、地域の医療機関の小児科医との連携・協力体制強化とともに、時間外診療を含む小児救急ニーズに柔軟に対応していく。</p>	<p>(4) 小児医療(重点項目)</p> <p>・県北地域の拠点病院として、充実した常勤医師体制を維持し、時間外診療を含む小児救急ニーズに柔軟に対応する。</p>	<p>(4) 小児医療(重点項目)</p> <p>常勤医師4人体制を維持し、通常の外来診療業務に加え平日 16 時から 17 時 45 分までを通常外来業務として対応した。</p> <p>また、開業の小児科医院が休診となる土曜日 12 時から 17 時と日祭日の 10 時から 22 時の時間帯には医師が院内に常駐し、夜間はオンコール体制で小児医療ニーズに対応した。</p> <p>《小児科受診患者数の年度比較》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成 28 年度実績</th> <th>平成 29 年度実績</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来延べ患者数</td> <td>5,338 人</td> <td>6,518 人</td> <td>+1,180 人</td> </tr> <tr> <td>救急受診延べ患者数</td> <td>2,472 人</td> <td>2,592 人</td> <td>+ 120 人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,810 人</td> <td>9,110 人</td> <td>+1,300 人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成 28 年度実績	平成 29 年度実績	比較	外来延べ患者数	5,338 人	6,518 人	+1,180 人	救急受診延べ患者数	2,472 人	2,592 人	+ 120 人	合計	7,810 人	9,110 人	+1,300 人	4
項目	平成 28 年度実績	平成 29 年度実績	比較																
外来延べ患者数	5,338 人	6,518 人	+1,180 人																
救急受診延べ患者数	2,472 人	2,592 人	+ 120 人																
合計	7,810 人	9,110 人	+1,300 人																

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 提供する医療サービスの充実 (5) 災害等への対応

中期目標	県北地域における災害時の救急拠点としての役割を果たすこと。
------	-------------------------------

中期計画	年度計画	法人の自己評価	
		評価の判断理由(実施状況等)	評価
<p>(5) 災害等への対応</p> <p>災害時には「災害拠点病院」としての役割を果たすとともに、公衆衛生上重大な健康被害が発生又は発生しようとしている場合には、行政や地域の医療機関、医師会等と連携して迅速かつ適切に対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> DMAT 隊を中心として、院内の防災訓練を実施し、玉名市等の防災訓練にも参加する。 BCP(事業継続計画)に基づく防災マニュアルを整備しており、災害時の食料・燃料等備蓄体制を維持する。 熊本地震の教訓(当院は地震発生後直ちに救急患者の受け入れ体制を整えたが、患者はすぐには来なかった)より近隣で災害が発生した場合は現地へ情報収集の人員を派遣し、情報収集とともに情報の発信を行うための体制を整える。 	<p>(5) 災害等への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> DMAT隊を中心として、院内の防災訓練を実施し、玉名市等の防災訓練にも参加する。 BCP(事業継続計画)に基づく防災マニュアルに基づき、災害時の食料・燃料等備蓄体制を維持する。 熊本地震の教訓(当院は地震発生後直ちに救急患者の受け入れ体制を整えたが、患者はすぐには来なかった)より近隣で災害が発生した場合は現地へ人員を派遣し、情報収集とともに情報の発信を行うための体制を整える。 	<p>(5)災害等への対応</p> <p>災害時には「災害拠点病院」としての役割を果たすとともに、公衆衛生上重大な健康被害が発生又は発生しようとしている場合には、行政や地域の医療機関、医師会等と連携して迅速かつ適切に対応できるように以下の活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年 10 月 有明地区 EMIS 研修会において当院 DMAT 隊を講師として有明地区の医療機関へ EMIS 実技指導 平成 29 年 11 月 玉名市防災訓練に参加し倒壊家屋からの救出患者治療等の実施 平成 29 年 12 月 院内防災訓練にて災害対策本部設置から大量被災者受入訓練を実施 平成 30 年 3 月 DMAT 隊員に必要な技術保持を目的とした DMAT 技能維持訓練参加 	4

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 提供する医療サービスの充実 (6) 予防医療の充実

中期目標	住民への健診事業を継続し、がん及び生活習慣病に対する予防、早期発見、早期治療を推進すること。
------	--

中期計画	年度計画	法人の自己評価																																																															
		評価の判断理由(実施状況等)	評価																																																														
<p>(6) 予防医療の充実</p> <p>併設する健診センターにおいて、住民の健康増進を目的とする予防医学推進の観点から行政機関と連携し、特定健診・生活習慣病予防健診・がん検診・各種健康診断等を実施する。保健所等とも情報交換を行い、緊密に連携を図る。</p> <p>健診に関する実績(公立玉名中央病院分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健診受入件数</td> <td>54,843件</td> <td>46,412件</td> <td>47,880件</td> <td>52,086件</td> </tr> </tbody> </table> <p>健診に関する目標(公立玉名中央病院分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29*</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健診受入件数</td> <td>12,100件</td> <td>52,000件</td> <td>52,000件</td> <td>52,000件</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 平成29年度は平成29年10月から平成30年3月までの半期分(過去3年間の期間別健診業務実績率:上半期(4月~9月)76% 下半期(10月~3月)24%)</p>		H25	H26	H27	H28	健診受入件数	54,843件	46,412件	47,880件	52,086件		H29*	H30	H31	H32	健診受入件数	12,100件	52,000件	52,000件	52,000件	<p>(6) 予防医療の充実</p> <p>・併設する健診センターにおいて、住民の健康増進を目的とする予防医学推進の観点から行政機関と連携し、特定健診・生活習慣病予防健診・がん検診・各種健康診断等を実施する。</p> <p>・保健所等とも情報交換を行い、緊密に連携を図る。</p> <p>《予防医療の充実に関する目標値》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>参考値 ※</th> <th>H29年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健診数</td> <td>207件</td> <td>200件</td> </tr> <tr> <td>生活習慣病予防健診数</td> <td>2,427件</td> <td>2,500件</td> </tr> <tr> <td>がん検診数</td> <td>3,502件</td> <td>3,550件</td> </tr> <tr> <td>その他各種健診数</td> <td>5,822件</td> <td>5,850件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,958件</td> <td>12,100件</td> </tr> </tbody> </table> <p>本期間は6ヶ月間のため、目標値は過去3年同期間の平均値(※)を参考に設定した。</p>	項目	参考値 ※	H29年度目標値	特定健診数	207件	200件	生活習慣病予防健診数	2,427件	2,500件	がん検診数	3,502件	3,550件	その他各種健診数	5,822件	5,850件	合計	11,958件	12,100件	<p>(6) 予防医療の充実</p> <p>併設する健診センターにおいては、住民の健康増進を目的とする予防医学推進の観点から行政機関と連携し、特定健診・生活習慣病予防健診・がん検診・各種健康診断等を健診項目毎に目標値を設定して実施した。</p> <p>特定健診では新たに菊池市と山鹿市の全国健康保健協会の健診の一部を実施することとなり目標値を超える結果となった。</p> <p>がん検診は荒尾市の肺がん検診が入札により他の検診機関へ変更になり目標を大きく下回ったが、オプション検査である腫瘍マーカーの検査増により減数を抑えた実績であると分析する。今後も更なる予防医学の推進を図る。</p> <p>《予防医療の充実に関する目標値》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H29年度目標値</th> <th>H29年度実績</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健診数</td> <td>200件</td> <td>341件</td> <td>+141人</td> </tr> <tr> <td>生活習慣病予防健診数</td> <td>2,500件</td> <td>2,563件</td> <td>+63人</td> </tr> <tr> <td>がん検診数</td> <td>3,550件</td> <td>3,457件</td> <td>-93人</td> </tr> <tr> <td>その他各種健診数</td> <td>5,850件</td> <td>5,862件</td> <td>+12人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12,100件</td> <td>12,223件</td> <td>+123人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(平成29年度は平成29年10月から平成30年3月までの半期分)</p>	項目	H29年度目標値	H29年度実績	比較	特定健診数	200件	341件	+141人	生活習慣病予防健診数	2,500件	2,563件	+63人	がん検診数	3,550件	3,457件	-93人	その他各種健診数	5,850件	5,862件	+12人	合計	12,100件	12,223件	+123人	3
	H25	H26	H27	H28																																																													
健診受入件数	54,843件	46,412件	47,880件	52,086件																																																													
	H29*	H30	H31	H32																																																													
健診受入件数	12,100件	52,000件	52,000件	52,000件																																																													
項目	参考値 ※	H29年度目標値																																																															
特定健診数	207件	200件																																																															
生活習慣病予防健診数	2,427件	2,500件																																																															
がん検診数	3,502件	3,550件																																																															
その他各種健診数	5,822件	5,850件																																																															
合計	11,958件	12,100件																																																															
項目	H29年度目標値	H29年度実績	比較																																																														
特定健診数	200件	341件	+141人																																																														
生活習慣病予防健診数	2,500件	2,563件	+63人																																																														
がん検診数	3,550件	3,457件	-93人																																																														
その他各種健診数	5,850件	5,862件	+12人																																																														
合計	12,100件	12,223件	+123人																																																														

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 提供する医療サービスの充実 (7) 総合診療専門医の育成

中期目標	熊本県地域医療支援機構が公立玉名中央病院と協力し設置した「地域医療・総合診療実践学寄附講座玉名教育拠点」において、地域医療の現場での総合診療医育成に努めること。
------	--

中期計画	年度計画	法人の自己評価	
		評価の判断理由(実施状況等)	評価
<p>(7) 総合診療専門医の育成</p> <p>(背景)</p> <p>熊本県は県内の医師の偏在問題解消を目的として熊本大学医学部附属病院と協力し、平成 25 年 12 月に「熊本県地域医療支援機構」を設立した。医師の地域偏在については、医師の専門志向、地域で勤務した場合のキャリア形成の遅れに対する不安などが背景にあると言われている。そのため、「オールくまもと」として県一体での取組が開始され、平成 27 年 4 月当院に玉名教育拠点が発足した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本大学医学部附属病院から当院に指導医師を配置することにより総合診療を志す医師を受入れ、地域医療の現場での診療実践を通し総合診療医を育成する。 研修医・専攻医の教育に加え、総合診療医を目指す医学生の特例臨床実習についても可能な限り受け入れる。 	<p>(7) 総合診療専門医の育成</p> <p>平成 27 年 4 月に当院に設置した「熊本県地域医療支援機構」の玉名教育拠点を受け皿として、熊本大学医学部附属病院から当院に指導医師を配置することにより総合診療を志す医師を受入れ、地域医療の現場での診療実践を通し総合診療医を育成する。</p> <p>現在受入れ中の専攻医 3 名・研修医 8 名に加え、総合診療医を目指す医学生の特例臨床実習についても可能な限り(年間 30～40 名程度)受入れていく。</p>	<p>(7) 総合診療専門医の育成</p> <p>地域医療・総合診療実践学寄附講座 玉名教育拠点では 3 名の指導医により総合診療専門医を目指す当院の基幹型研修医 5 名と熊本大学病院・熊本医療センターの協力型研修医 9 名に地域医療の現場での診療実践と研修を実施した。</p> <p>当院を基幹型研修病院として希望する医学生の増加もあり、現在 4 名の研修医受入枠を 6 名へ増加することを申請中である。</p> <p>また、医師を志す熊本大学医学部 6 年生の医学生 30 名の実習受入では総合診療科を中心とし各科指導医の協力のもと対応した。</p>	4

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

2 患者本位の医療の実践 (1) 安全・安心な医療の提供

中期目標 良質で高度な医療を提供するため、医療安全管理体制を構築し、その徹底を図ること。

中期計画	年度計画	法人の自己評価	
		評価の判断理由(実施状況等)	評価
<p>(1) 安全・安心な医療の提供</p> <p>良質で高度な医療を提供するため、医療安全管理体制を構築し、その徹底を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者やその家族が納得した治療方法を選択できるよう、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントを徹底する。 医療を自由に選択する患者の権利を守るため、当院の患者やその家族が治療法の選択にあたり、主治医とは別の医師の意見を求めたとき、適切にセカンド・オピニオンを受けられる体制を維持する。 EBM(科学的な根拠に基づく医療)を推進するとともに、患者やその家族からの医学的質問や生活、入院上の不安等の様々な相談に対応する。 	<p>(1) 安全・安心な医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者やその家族が納得した治療方法を選択できるよう、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントを徹底する。 医療を自由に選択する患者の権利を守るため、当院の患者やその家族が治療法の選択にあたり、主治医とは別の医師の意見を求めたとき、適切にセカンド・オピニオンを受けられる体制を維持する。 EBM(科学的な根拠に基づく医療)を推進するとともに、患者やその家族からの医学的質問や生活、入院上の不安等の様々な相談に対応する。 	<p>(1) 安全・安心な医療の提供</p> <p>社会福祉士と看護師の各1名を患者相談窓口配置し、相談内容によって各種専門職が対応することとし、苦情・要望や医療的相談の場合には医療安全管理室の相談員と協力して対応している。</p> <p>事業報告期間中には心理社会的相談344件、経済的相談8件、苦情・要望等19件の相談に対応した。</p> <p>また、インフォームドコンセントの徹底は勿論のこと、がん患者のセカンドオピニオンについても数は少ないが対応した。</p>	3

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

2 患者本位の医療の実践 (2)医療安全の徹底

中期目標	医療安全管理体制を整備し医療事故を防止するため、職員の意識啓発と病院全体の危機管理の充実を図ること。
------	--

中期計画	年度計画	法人の自己評価																																																				
		評価の判断理由(実施状況等)	評価																																																			
<p>(2)医療安全の徹底</p> <p>患者の医療や職員の安全確保のため、医療安全に関する情報の収集や分析を行い、院内の指針に基づいて医療安全対策の徹底を図る。また、院内感染対策については、院内感染対策チームを中心に感染源や感染経路に応じた対策や職員の意識啓発を行い、院内感染の防止に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職種毎のインシデント報告書を分析し、研修内容を企画する。 ・研修目的達成のため同一内容の研修会を複数回開催することにより全職員参加を目指す。 <p>医療安全研修に関する参加実績(公立玉名中央病院分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修会開催回数</td> <td>26回</td> <td>18回</td> <td>14回</td> <td>16回</td> </tr> <tr> <td>職員参加率</td> <td>97%</td> <td>100%</td> <td>90%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29*</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修会開催回数</td> <td>9回</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>18回</td> </tr> <tr> <td>職員参加率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療安全研修に関する目標値(公立玉名中央病院分)</p> <p>※ 職員参加率 = 研修内容毎の対象職員の参加率</p> <p>* 平成29年度は平成29年10月から平成30年3月までの半期分</p>		H25	H26	H27	H28	研修会開催回数	26回	18回	14回	16回	職員参加率	97%	100%	90%	100%		H29*	H30	H31	H32	研修会開催回数	9回	18回	18回	18回	職員参加率	100%	100%	100%	100%	<p>(2)医療安全の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理体制を整備し医療事故を防止するため、職員の意識啓発と病院全体の危機管理能力の充実を図る。 ・患者の医療や職員の安全確保のため、専従職員を中心として医療安全に関する情報の収集や分析を行い、院内の指針に基づいて医療安全対策の徹底を図る。 ・院内感染対策チームを中心に感染源や感染経路に応じた対策や職員の意識啓発を行い、院内感染の防止に努める。 ・職種毎のインシデント報告書を分析し、研修内容を企画する。 ・研修内容徹底のため同一内容の研修会を複数回開催し、全職員参加を目指す。 <p><計画年度内の研修予定></p> <p>(医療安全関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・看護の現場でのリスク感性の醸成 ・安全・安心な医療のためのコンフリクトマネジメント ・平成29年度各病棟での医療安全への取組 ・チームステップス <p>(院内感染関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ対策、歯周病と関連疾患、感染性胃腸炎対策、 ・吐物処理、口腔ケアの重要性、RST(呼吸サポートチーム)の取組等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>参考値 ※</th> <th>年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修会開催回数</td> <td>8回</td> <td>9回</td> </tr> <tr> <td>職員参加率 *</td> <td>97%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>本期間は6ヶ月間のため、目標値は過去3年同期間の平均値(※)を参考に設定した。</p> <p>* 職員参加率=研修内容毎の対象職員の参加率</p>	項目	参考値 ※	年度目標値	修会開催回数	8回	9回	職員参加率 *	97%	100%	<p>(2)医療安全の徹底</p> <p>職員向けの医療安全対策研修会として「医療安全の基礎～正しい確認～」を同じ内容で日時を変えて5回開催した。</p> <p>また感染防止対策研修会として「インフルエンザ対策について」と題した教育講座を日時を変えて8回実施しそれぞれに全職員の受講を目指したが参加率100%を達成できなかった。</p> <p>今後は実施回数を増やすと共に参加できなかった理由や人物等の確認・分析を行い継続して全員参加を目指す。</p> <p>《研修会開催に関する目標値》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H29 目標値</th> <th>H29 実績</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修会開催回数</td> <td>9回</td> <td>13回</td> <td>+4回</td> </tr> <tr> <td>職員参加率 *</td> <td>100%</td> <td>89%</td> <td>-11%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(平成29年度は平成29年10月から平成30年3月までの半期分)</p>	項目	H29 目標値	H29 実績	比較	研修会開催回数	9回	13回	+4回	職員参加率 *	100%	89%	-11%	2
	H25	H26	H27	H28																																																		
研修会開催回数	26回	18回	14回	16回																																																		
職員参加率	97%	100%	90%	100%																																																		
	H29*	H30	H31	H32																																																		
研修会開催回数	9回	18回	18回	18回																																																		
職員参加率	100%	100%	100%	100%																																																		
項目	参考値 ※	年度目標値																																																				
修会開催回数	8回	9回																																																				
職員参加率 *	97%	100%																																																				
項目	H29 目標値	H29 実績	比較																																																			
研修会開催回数	9回	13回	+4回																																																			
職員参加率 *	100%	89%	-11%																																																			

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

2 患者本位の医療の実践 (3)患者・住民サービスの向上

中期目標 院内アメニティの改善や待ち時間への配慮を行い、患者や患者家族にとって利用しやすい病院づくりを目指すこと。また、職員の待遇改善など、患者満足度の継続的な向上に努めること。

中期計画	年度計画	法人の自己評価	
		評価の判断理由(実施状況等)	評価
<p>(3)患者・住民サービスの向上</p> <p>患者や患者家族に快適な環境を提供するよう努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内施設の改修や補修を必要に応じて実施する。 ・患者満足度を高める取り組みを行う。 ・案内者(コンシェルジュ)を配置しスムーズな受療をサポートする。 	<p>(3)患者・住民サービスの向上(重点項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者や患者家族に快適な環境を提供するため、院内清掃の徹底や病室、待合室、トイレ及び浴室等の施設の改修や補修を必要に応じて実施する。 ・患者用駐車場不足対策(平成29年4月より通勤距離が短い職員のマイカー通勤制限)を継続運用する。 ・病院玄関前での乗降介助や案内を含めた患者サポートを行う。 ・平成28年12月に待ち時間短縮の目的で会計窓口レイアウトを変更したところ、結果が得られたため継続運用する。 ・院内各所に設置の「ご意見箱」に寄せられる意見・苦情等を分析し、改善を進める。 ・患者満足度調査を実施する。(業者依頼も含めて検討する) ・業務改善委員会等が主催する全職員参加の研修等を実施し、職員一人ひとりの待遇向上を図る。 	<p>(3)患者・住民サービスの向上(重点項目)</p> <p>患者サービスの向上を目的とし業務改善委員会を中心に患者満足度調査を実施し職員の対応や施設・設備関係、待ち時間等のアンケート結果や院内各所に設置しているご意見箱の投書等により改善改良に努めた。</p> <p>その内容は、職員の待遇指導は勿論のこと施設・設備関係では、見えにくい・分かりづらいとのご意見を受け、院内表示板の文字を大きくし統一感のあるものに変更した。また、院内の洋式トイレ全てに温水機能を備えたウォシュレットを設置し快適な医療環境の提供に努めた。</p> <p>懸案の駐車場不足対策として通勤距離1.5km未満の職員の車両乗入れ禁止を継続するとともに、平成29年度は病院裏に職員用駐車場(40台収容)を借上げて患者用駐車場の安定確保に努めた。</p>	4

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
 3 信頼性の確保 (1)法令順守

中期目標 医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、公的病院にふさわしい行動規範と職業倫理を確立すること。

中期計画	年度計画	法人の自己評価	
		評価の判断理由(実施状況等)	評価
(1)法令順守 公的病院にふさわしい行動規範と職業倫理を確立するため、医療法をはじめとする関係法令の遵守はもとより、個人情報保護に関する院内規則等の各種内部規定や倫理委員会等によるチェック等を通じて、適正な業務運営を行う。	(1)法令順守 公的病院にふさわしい行動規範と職業倫理を確立するため、医療法をはじめとする関係法令の遵守はもとより、個人情報保護に関する院内規則等の各種内部規定や倫理委員会等によるチェック等を通じて、適正な業務運営を行う。	(1)法令順守 新規採用職員に対しては、採用時研修のなかで地方独立行政法人くまもと県北病院機構職員倫理規程等による法令遵守を中心とした行動規範と職業倫理について教育を行った。診療情報については地方独立行政法人くまもと県北病院機構個人情報保護院内規則に基づき適正に管理し、本事業報告期間内に16件のカルテ開示に対応した。また、臨床研究については倫理審査申請のあった5件の研究内容を倫理委員会において審議し承認した。	3

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
 3 信頼性の確保 (2)地域に対する広報

中期目標 医療に関する情報を住民に発信し普及啓発活動を行うこと。

中期計画	年度計画	法人の自己評価	
		評価の判断理由(実施状況等)	評価
(2)地域に対する広報 公立玉名中央病院の特色や治療方針をはじめとし、取組及び地域医療機関との連携等について、わかりやすくホームページや広報誌等で情報発信するとともに、住民・患者向けの公開講座の開催、講師の派遣依頼等に積極的に対応するなど保健医療情報の発信及び普及啓発を行う。	(2)地域に対する広報 <ul style="list-style-type: none"> 当院の診療内容や特色・取組及び地域医療機関との連携等についてホームページや広報誌等で情報発信する。 行政主催イベントへスタッフの派遣を行う。 行政依頼行事や福祉施設等での認定看護師等による講演会やイベントの運営を行う。 隔月開催の糖尿病教室(しょうぶ会)、10月の「ホスピス緩和ケア週間」・「手洗いデー」並びに11月の「世界糖尿病デー」には患者・住民向けイベントを開催する。 	(2)地域に対する広報 公立玉名中央病院の診療内容や特色・取組及び地域医療機関との連携等について、ホームページで情報発信するとともに、年3回(1月、5月、9月)発行の連携だよりを地域の医療機関を中心として190ヵ所へ送付した。また、院内新聞(医心伝心)を1月と5月に発刊し保健医療情報の発信及び普及啓発を行った。ホスピス緩和ケア週間の患者向けイベントとして10月12日には「もっと知るお緩和ケア」と題し玉名の緩和ケアの取組報告と在宅におけるシリンジポンプ器材の展示・説明を行い、13日には「オール玉名緩和ケアプロジェクト」として多職種講演会とミニ寸劇を実施し延べ161名の参加があった。また同日には「公立玉名中央病院手洗いデー」を開催し手洗い方法のDVD放映や手洗い洗い残し体験と各種パンフレット配布による感染防止等の啓発活動を行った。	3

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

4 地域医療連携の推進と地域医療への貢献 (1) 地域医療連携の推進

中期目標	「地域医療支援病院」として地域の医療機関との機能分担や連携を更に推進し、地域包括ケアシステムにおける中核病院としての役割を果たすこと。
------	---

中期計画	年度計画	法人の自己評価																																																											
		評価の判断理由(実施状況等)	評価																																																										
<p>(1) 地域医療連携の推進</p> <p>地域の中核病院である公的医療機関としての使命と役割を果たすため、地域の医療機関との役割分担の明確化と連携の強化を図る。</p> <p>地域の医療機関や医師会等と協力し、医療機関からの紹介に適切に対応しつつ、公立玉名中央病院での治療を終えた患者については状態に適した医療機関への紹介を進め、「地域医療支援病院」としての役割を果たす。</p> <p>医療連携に関する実績(公立玉名中央病院分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>58.2%</td> <td>57.2%</td> <td>62.4%</td> <td>60.6%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>88.5%</td> <td>88.9%</td> <td>88.8%</td> <td>95.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療連携に関する目標値(公立玉名中央病院分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29*</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>60.0%</td> <td>60.0%</td> <td>60.0%</td> <td>60.0%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>96.0%</td> <td>96.0%</td> <td>96.0%</td> <td>96.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 平成29年度は10月から平成30年3月までの半期分</p>		H25	H26	H27	H28	紹介率	58.2%	57.2%	62.4%	60.6%	逆紹介率	88.5%	88.9%	88.8%	95.6%		H29*	H30	H31	H32	紹介率	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	逆紹介率	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	<p>(1) 地域医療連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療支援病院としての役割を果たし、紹介率・逆紹介率の維持に努める。 ・地域医療機関からの紹介や入院依頼に対して適切な対応を行う。 ・医療福祉関係者間での連携カンファレンス実施数を維持する。 <p>《地域医療連携に関する目標値》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>連携推進指標</th> <th>参考値 ※</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>60.1%</td> <td>60.0%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>91.1%</td> <td>95.0%</td> </tr> <tr> <td>連携カンファレンス実施数</td> <td>167件</td> <td>170件</td> </tr> </tbody> </table> <p>本期間は6ヶ月間のため、目標値は過去3年同期間の平均値(※)を参考に設定した。</p>	連携推進指標	参考値 ※	目標値	紹介率	60.1%	60.0%	逆紹介率	91.1%	95.0%	連携カンファレンス実施数	167件	170件	<p>(1) 地域医療連携の推進</p> <p>地域の先生方と顔の見える連携構築のため、紹介の多い医療施設に連携委員長(診療部長)と連携室スタッフで訪問した。</p> <p>また、看取りを含めた自宅での療養ができるよう、たまな在宅ネットワークに相談し、訪問診療していただける地域の先生方と連携し支援した。</p> <p>地域の先生方から期間中401件の入院依頼があり、373件(93%)については対応可能であったが、28件は依頼時に当院が満床であったなどの理由により帰宅や外来フォローとなった。</p> <p>《地域医療連携に関する目標値》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>連携推進指標</th> <th>年度目標値</th> <th>年度実績</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>60.0 %</td> <td>63.3 %</td> <td>+ 3.3 %</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>95.0 %</td> <td>94.3 %</td> <td>- 0.7 %</td> </tr> <tr> <td>連携カンファレンス実施数</td> <td>170 件</td> <td>167 件</td> <td>- 3 件</td> </tr> </tbody> </table>	連携推進指標	年度目標値	年度実績	比較	紹介率	60.0 %	63.3 %	+ 3.3 %	逆紹介率	95.0 %	94.3 %	- 0.7 %	連携カンファレンス実施数	170 件	167 件	- 3 件	3
	H25	H26	H27	H28																																																									
紹介率	58.2%	57.2%	62.4%	60.6%																																																									
逆紹介率	88.5%	88.9%	88.8%	95.6%																																																									
	H29*	H30	H31	H32																																																									
紹介率	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%																																																									
逆紹介率	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%																																																									
連携推進指標	参考値 ※	目標値																																																											
紹介率	60.1%	60.0%																																																											
逆紹介率	91.1%	95.0%																																																											
連携カンファレンス実施数	167件	170件																																																											
連携推進指標	年度目標値	年度実績	比較																																																										
紹介率	60.0 %	63.3 %	+ 3.3 %																																																										
逆紹介率	95.0 %	94.3 %	- 0.7 %																																																										
連携カンファレンス実施数	170 件	167 件	- 3 件																																																										

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

4 地域医療連携の推進と地域医療への貢献 (2) 地域医療への貢献

中期目標	地域の医療従事者の専門性向上に努め、医療水準の向上に努めること。
------	----------------------------------

中期計画	年度計画	法人の自己評価																																																																																						
		評価の判断理由(実施状況等)	評価																																																																																					
<p>(2) 地域医療への貢献</p> <p>地域の医療機関や医療スタッフ向けの研修会等を開催するなど、地域の医療従事者の専門性向上に努める。</p> <p>地域での研修会に関する実績(公立玉名中央病院分)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>55回</td> <td>66回</td> <td>64回</td> <td>50回</td> </tr> <tr> <td>院外参加者</td> <td>709人</td> <td>822人</td> <td>1,009人</td> <td>759人</td> </tr> <tr> <td>院内参加者</td> <td>1,567人</td> <td>1,694人</td> <td>2,177人</td> <td>1,327人</td> </tr> <tr> <td>合計参加者</td> <td>2,276人</td> <td>2,516人</td> <td>3,186人</td> <td>2,086人</td> </tr> </table> <p>研修会に関する目標値(公立玉名中央病院分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療従事者全職種を対象とする研修会の企画と開催。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 専門研修 (対象: 医師・看護師・メディカルスタッフ・事務) 2) 一般研修 (対象: 職種横断的・患者・救急隊員・実習学生) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H29*</td> <td>H30</td> <td>H31</td> <td>H32</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>25回</td> <td>55回</td> <td>55回</td> <td>55回</td> </tr> <tr> <td>院外参加者</td> <td>400人</td> <td>800人</td> <td>800人</td> <td>800人</td> </tr> <tr> <td>院内参加者</td> <td>700人</td> <td>1,600人</td> <td>1,600人</td> <td>1,600人</td> </tr> <tr> <td>合計参加者</td> <td>1,100人</td> <td>2,400人</td> <td>2,400人</td> <td>2,400人</td> </tr> </table> <p>*平成29年度は10月から平成30年3月までの半期分</p>		H25	H26	H27	H28	開催回数	55回	66回	64回	50回	院外参加者	709人	822人	1,009人	759人	院内参加者	1,567人	1,694人	2,177人	1,327人	合計参加者	2,276人	2,516人	3,186人	2,086人		H29*	H30	H31	H32	開催回数	25回	55回	55回	55回	院外参加者	400人	800人	800人	800人	院内参加者	700人	1,600人	1,600人	1,600人	合計参加者	1,100人	2,400人	2,400人	2,400人	<p>(2) 地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療機関との大腿骨地域連携パスのしくみ作りを新規に行う。 ・地域医療機関へ医師や看護師等の専門的スタッフのアウトリーチ*活動を実施する。 (*アウトリーチ = 手を差し伸べる) ・地域の医療機関や医療スタッフ向けの研修会等を開催する。 <p>≪研修会に関する目標値≫</p> <p>(* 院外の医療従事者の参加がある研修会)</p> <table border="1"> <tr> <td>医療従事者向け研修 *</td> <td>参考値 ※</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>25回</td> <td>25回</td> </tr> <tr> <td>院外参加者数</td> <td>380人</td> <td>400人</td> </tr> <tr> <td>院内参加者数</td> <td>664人</td> <td>700人</td> </tr> <tr> <td>合計参加者数</td> <td>1,044人</td> <td>1,100人</td> </tr> </table> <p>本期間は6ヶ月間のため、目標値は過去3年同期間の平均値(※)を参考に設定した。</p>	医療従事者向け研修 *	参考値 ※	目標値	開催回数	25回	25回	院外参加者数	380人	400人	院内参加者数	664人	700人	合計参加者数	1,044人	1,100人	<p>(2) 地域医療への貢献</p> <p>地域の医療機関との連携パス作成の前準備として大腿骨頸部骨折の院内連携パスの作成が完了しており、現在は院外との連携パスを作成中である。</p> <p>地域医療機関への専門的スタッフの外部派遣として各種講演会(感染3回、認知症1回、糖尿病1回)に認定看護師を講師として派遣した。</p> <p>玉名市高齢介護課高齢支援係主催の住民健康教室では、計4回延べ8名のスタッフを講師として派遣すると共にマラソン大会へ救護として看護師2名を派遣した。更に入院患者について退院前後に認定看護師等が患者宅を訪問し療養上の留意点等の指導を7件実施した。</p> <p>また、地元商店街主催の夏祭りに「健康チェックブース」を設置し、医師を含めた37名のスタッフで健康チェックと健康相談を実施し123名の来場者があった。</p> <p>地域の医療従事者を対象とした研修会を下表のとおり実施し医療レベル向上に努めた。</p> <p>≪地域医療貢献に関する目標値≫</p> <p>(平成29年度は平成29年10月から平成30年3月までの半期分)</p> <table border="1"> <tr> <td>医療従事者向け研修</td> <td>年度目標値</td> <td>年度実績</td> <td>比較</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>25回</td> <td>31回</td> <td>+ 6回</td> </tr> <tr> <td>院外参加者数</td> <td>400人</td> <td>349人</td> <td>- 51人</td> </tr> <tr> <td>院内参加者数</td> <td>700人</td> <td>907人</td> <td>+ 207人</td> </tr> <tr> <td>合計参加者数</td> <td>1,100人</td> <td>1,256人</td> <td>+ 156人</td> </tr> </table>	医療従事者向け研修	年度目標値	年度実績	比較	開催回数	25回	31回	+ 6回	院外参加者数	400人	349人	- 51人	院内参加者数	700人	907人	+ 207人	合計参加者数	1,100人	1,256人	+ 156人	3
	H25	H26	H27	H28																																																																																				
開催回数	55回	66回	64回	50回																																																																																				
院外参加者	709人	822人	1,009人	759人																																																																																				
院内参加者	1,567人	1,694人	2,177人	1,327人																																																																																				
合計参加者	2,276人	2,516人	3,186人	2,086人																																																																																				
	H29*	H30	H31	H32																																																																																				
開催回数	25回	55回	55回	55回																																																																																				
院外参加者	400人	800人	800人	800人																																																																																				
院内参加者	700人	1,600人	1,600人	1,600人																																																																																				
合計参加者	1,100人	2,400人	2,400人	2,400人																																																																																				
医療従事者向け研修 *	参考値 ※	目標値																																																																																						
開催回数	25回	25回																																																																																						
院外参加者数	380人	400人																																																																																						
院内参加者数	664人	700人																																																																																						
合計参加者数	1,044人	1,100人																																																																																						
医療従事者向け研修	年度目標値	年度実績	比較																																																																																					
開催回数	25回	31回	+ 6回																																																																																					
院外参加者数	400人	349人	- 51人																																																																																					
院内参加者数	700人	907人	+ 207人																																																																																					
合計参加者数	1,100人	1,256人	+ 156人																																																																																					

第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項

1 人材の確保と育成 (1) 人材の確保

中期目標	質の高い医療を提供するため、医師、看護師をはじめ多種多様な専門職など優秀な人材を確保すること。
------	---

中期計画	年度計画	法人の自己評価																																																																						
		評価の判断理由(実施状況等)	評価																																																																					
<p>(1) 人材の確保</p> <p>医師の確保については目指す医療水準並びに経営上最適な人数等を考慮しつつ熊本大学等への協力要請を継続する。</p> <p>看護師については看護学校、その他の医療技術者の確保については、それぞれの学校との連携強化などにより学校推薦制度や奨学金貸付制度により、急性期医療の提供に必要な人材の安定的な確保に努める。</p> <p>また、事務職員の確保については年齢不均衡を是正するため、中堅層の優秀な事務職員を確保し、安定的な事務体制を維持する。</p> <p>職員数に関する実績(公立玉名中央病院分)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>常勤医師数(研修医含む)</td> <td>43人</td> <td>44人</td> <td>45人</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師数</td> <td>226人</td> <td>223人</td> <td>233人</td> <td>249人</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師の離職率</td> <td>4.4%</td> <td>9.9%</td> <td>6.4%</td> <td>6.1%</td> </tr> </table> <p>職員数に関する目標値(公立玉名中央病院分)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>H31</td> <td>H32</td> </tr> <tr> <td>常勤医師数(研修医含む)</td> <td>63人</td> <td>66人</td> <td>66人</td> <td>66人</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師数</td> <td>254人</td> <td>254人</td> <td>260人</td> <td>265人</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師の離職率</td> <td>6.0%</td> <td>7.0%</td> <td>7.0%</td> <td>7.0%</td> </tr> </table> <p>○各年度初頭の職員数</p> <p>○ 全国平均常勤看護師離職率 10.0% (公益社団法人日本看護協会発表)</p>		H25	H26	H27	H28	常勤医師数(研修医含む)	43人	44人	45人	51人	常勤看護師数	226人	223人	233人	249人	常勤看護師の離職率	4.4%	9.9%	6.4%	6.1%		H29	H30	H31	H32	常勤医師数(研修医含む)	63人	66人	66人	66人	常勤看護師数	254人	254人	260人	265人	常勤看護師の離職率	6.0%	7.0%	7.0%	7.0%	<p>(1) 人材の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師については熊本大学医学部等との計画的な人事交流や研修を通じた連携の強化を図り現員の維持に努める。 ・看護師を含めたその他の医療技術者の確保については、担当職員の学校訪問等により学校推薦制度や奨学金貸付制度も活用し必要な人材の安定確保に努める。 <p>《人材の確保に関する目標値》</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>項目</th> <th>参考値 ※</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>常勤医師数(研修医含む)</td> <td>47人</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師数</td> <td>249人</td> <td>254人</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師の離職率*</td> <td>6.1%</td> <td>6.0%</td> </tr> </table> <p>目標値は過去3年間の平均値(※)を参考に設定した。 全国平均常勤看護師離職率 10.0% (公益社団法人日本看護協会発表)</p>	項目	参考値 ※	目標値	常勤医師数(研修医含む)	47人	64人	常勤看護師数	249人	254人	常勤看護師の離職率*	6.1%	6.0%	<p>(1) 人材の確保</p> <p>医師確保については理事長による熊本大学各診療科への訪問による招聘活動や各種業務の連携強化、基幹型臨床研修病院としての研修医や協力型病院としての研修医や玉名教育拠点としての専攻医受け入れ等により平成28年度の常勤医師数50名から64名に増員することができ、30年度は更に増員が見込める状況にある。</p> <p>平成29年度の常勤看護師の離職率は10.6%であった。全国平均並みではあるが過去の当院の実績と比較すると大きく増加している。その原因としては経営形態変更に伴う非公務員化によるものと考えられる。今後の看護師安定確保のため、看護師採用責任者(看護部次長)が個別に学校訪問を行い、先生方へ当院の医療機能や特徴を説明すると共に次年度以降の採用に向けた保護者説明会や、生徒の病院見学の日程調整を行った。訪問時には各校出身者の声など病院の雰囲気や伝わる学校別のオリジナルの募集パンフレットを持参し3大学4高校6専門学校を訪問し推薦制度や一般募集等を紹介した。</p> <p>《訪問した学校一覧》</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・九州看護福祉大学 ・熊本保健科学大学 ・西南女学院大学 ・玉名女子高校 ・有明高校 ・九州中央リハビリテーション学院 ・城北高校 ・熊本中央高校 ・鹿本医師会看護学校 ・大牟田医師会看護専門学校 ・八女筑後看護専門学校 ・熊本医師会看護専門学校 ・熊本看護専門学校 </td> </tr> </table> <p>《人材確保に関する目標値》</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>項目</th> <th>年度目標値</th> <th>年度実績</th> <th>比較</th> </tr> <tr> <td>常勤医師数(研修医含む)</td> <td>64人</td> <td>64人</td> <td>± 0人</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師数</td> <td>254人</td> <td>272人</td> <td>+ 18人</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師の離職率</td> <td>6.0%</td> <td>10.6%</td> <td>+ 4.6%</td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・九州看護福祉大学 ・熊本保健科学大学 ・西南女学院大学 ・玉名女子高校 ・有明高校 ・九州中央リハビリテーション学院 ・城北高校 ・熊本中央高校 ・鹿本医師会看護学校 ・大牟田医師会看護専門学校 ・八女筑後看護専門学校 ・熊本医師会看護専門学校 ・熊本看護専門学校 	項目	年度目標値	年度実績	比較	常勤医師数(研修医含む)	64人	64人	± 0人	常勤看護師数	254人	272人	+ 18人	常勤看護師の離職率	6.0%	10.6%	+ 4.6%	2
	H25	H26	H27	H28																																																																				
常勤医師数(研修医含む)	43人	44人	45人	51人																																																																				
常勤看護師数	226人	223人	233人	249人																																																																				
常勤看護師の離職率	4.4%	9.9%	6.4%	6.1%																																																																				
	H29	H30	H31	H32																																																																				
常勤医師数(研修医含む)	63人	66人	66人	66人																																																																				
常勤看護師数	254人	254人	260人	265人																																																																				
常勤看護師の離職率	6.0%	7.0%	7.0%	7.0%																																																																				
項目	参考値 ※	目標値																																																																						
常勤医師数(研修医含む)	47人	64人																																																																						
常勤看護師数	249人	254人																																																																						
常勤看護師の離職率*	6.1%	6.0%																																																																						
<ul style="list-style-type: none"> ・九州看護福祉大学 ・熊本保健科学大学 ・西南女学院大学 ・玉名女子高校 ・有明高校 ・九州中央リハビリテーション学院 ・城北高校 ・熊本中央高校 ・鹿本医師会看護学校 ・大牟田医師会看護専門学校 ・八女筑後看護専門学校 ・熊本医師会看護専門学校 ・熊本看護専門学校 																																																																								
項目	年度目標値	年度実績	比較																																																																					
常勤医師数(研修医含む)	64人	64人	± 0人																																																																					
常勤看護師数	254人	272人	+ 18人																																																																					
常勤看護師の離職率	6.0%	10.6%	+ 4.6%																																																																					

第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項

1 人材の確保と育成 (2) 人材の育成

中期目標	病院の健全運営と、専門性が高く良質で高度な医療を行うために必要な人材を育成すること。
------	--

中期計画	年度計画	法人の自己評価																																																					
		評価の判断理由(実施状況等)	評価																																																				
<p>(2) 人材の育成</p> <p>資格取得・スキルアップを支援し、専門性と医療技術の向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 職務、職責に応じた階層別研修やテーマ毎の院内研修会の充実を図る。 外部の研修等を利用し、専門的技術の向上を目指す。 病院運営に必要な専門知識や経営感覚に優れた人材を育成する。 <p>認定看護師資格取得実績 (8分野/全21分野)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取得年度</th> <th>分野</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H24年度</td> <td>緩和ケア</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法看護</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>H25年度</td> <td>感染管理</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>H26年度</td> <td>救急看護</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H27年度</td> <td>皮膚排泄ケア</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">H28年度</td> <td>糖尿病看護</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>認知症看護</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害看護</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>認定看護師資格取得目標(公立玉名中央病院分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取得目標年度及び分野</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年度 がん化学療法看護</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>H30年度 救急看護</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>H31年度 未定</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>H32年度 未定</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>	取得年度	分野	人数	H24年度	緩和ケア	1人	がん化学療法看護	1人	H25年度	感染管理	1人	H26年度	救急看護	1人	H27年度	皮膚排泄ケア	1人	感染管理	1人	H28年度	糖尿病看護	1人	認知症看護	1人	摂食・嚥下障害看護	1人	取得目標年度及び分野	人数	H29年度 がん化学療法看護	1人	H30年度 救急看護	1人	H31年度 未定	1人	H32年度 未定	1人	<p>(3) 人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 職種や階層に応じた職務上必要な研修プログラムを整備し、資格取得のための支援制度を確立することによって、専門性と医療技術の向上に努める。 平成29年度中に二人目となるがん化学療法看護の資格取得を目指す。 	<p>(2) 人材の育成</p> <p>新人看護職員 17名を対象とし日本看護協会新人看護職員研修ガイドラインに基づく研修を実施した。その内容はシミュレーション研修(多重課題・時間切迫)、退院支援、災害・防災、看護倫理、クリニカルラダーについての説明等である。</p> <p>現任教育としてはeラーニングを用いた研修実施や、病棟毎に立案した年間教育計画を実施した。</p> <p>また、本年度は二人目となるがん化学療法認定看護師が資格を取得し、30年度は二人目となる救急看護認定看護師を育成予定である。その他の各分野の認定看護師により認知症・糖尿病・がん化学療法・緩和の領域での勉強会を実施した。</p> <p>(認定看護師分野と人数)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>救急看護</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>糖尿病看護</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法看護</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害看護</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>認知症看護</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>	救急看護	2人	緩和ケア	1人	感染管理	2人	糖尿病看護	1人	皮膚・排泄ケア	1人	がん化学療法看護	2人	摂食・嚥下障害看護	1人	認知症看護	1人	3
取得年度	分野	人数																																																					
H24年度	緩和ケア	1人																																																					
	がん化学療法看護	1人																																																					
H25年度	感染管理	1人																																																					
H26年度	救急看護	1人																																																					
H27年度	皮膚排泄ケア	1人																																																					
	感染管理	1人																																																					
H28年度	糖尿病看護	1人																																																					
	認知症看護	1人																																																					
	摂食・嚥下障害看護	1人																																																					
取得目標年度及び分野	人数																																																						
H29年度 がん化学療法看護	1人																																																						
H30年度 救急看護	1人																																																						
H31年度 未定	1人																																																						
H32年度 未定	1人																																																						
救急看護	2人																																																						
緩和ケア	1人																																																						
感染管理	2人																																																						
糖尿病看護	1人																																																						
皮膚・排泄ケア	1人																																																						
がん化学療法看護	2人																																																						
摂食・嚥下障害看護	1人																																																						
認知症看護	1人																																																						

第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項

1 人材の確保と育成 (3) 学生教育に係る場と人の提供

中期目標	将来医療に携わる人材の育成に尽力すること。
------	-----------------------

中期計画	年度計画	法人の自己評価																												
		評価の判断理由(実施状況等)	評価																											
(3)学生教育に係る場と人の提供 ・各職種において実習生等の受け入れを行う。 ・医療関係の学校等へ講師を派遣する。	(3)学生教育に係る場と人の提供 ・各職種において実習生等の受け入れを行う。 ・医療関係の学校等へ講師を派遣する。	(3) 学生教育に係る場と人の提供 熊本大学の医学生を臨床・クラークシップとして受け入れるほか、看護師、薬剤師等各職種の学生実習を積極的に受入れ職員による指導を実施した。 (受入実績) <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>学校名</th> <th>延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>熊本大学 (総合診療科、血液内科、糖尿病内分泌科)</td> <td>155 人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>九州看護福祉大学 九州中央リハビリテーション学院 玉名女子高校看護科、玉名女子高専攻科</td> <td>1,453 人</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>九州看護福祉大学 九州中央リハビリテーション学院、 熊本保健科学大学、帝京大学 熊本総合リハビリテーション学院、 熊本駅前看護リハビリテーション学院</td> <td>295 人</td> </tr> <tr> <td>工学技士</td> <td>熊本総合リハビリテーション学院</td> <td>43 人</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>崇城大学</td> <td>106 人</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>熊本保健科学大学</td> <td>98 人</td> </tr> <tr> <td>栄養士</td> <td>尚絅大学短期大学、中村学園大学 平岡学園、玉名女子高校</td> <td>26 人</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>九州看護福祉大学</td> <td>42 人</td> </tr> </tbody> </table>	職種	学校名	延人数	医師	熊本大学 (総合診療科、血液内科、糖尿病内分泌科)	155 人	看護師	九州看護福祉大学 九州中央リハビリテーション学院 玉名女子高校看護科、玉名女子高専攻科	1,453 人	リハビリ技師	九州看護福祉大学 九州中央リハビリテーション学院、 熊本保健科学大学、帝京大学 熊本総合リハビリテーション学院、 熊本駅前看護リハビリテーション学院	295 人	工学技士	熊本総合リハビリテーション学院	43 人	薬剤師	崇城大学	106 人	検査技師	熊本保健科学大学	98 人	栄養士	尚絅大学短期大学、中村学園大学 平岡学園、玉名女子高校	26 人	社会福祉士	九州看護福祉大学	42 人	3
職種	学校名	延人数																												
医師	熊本大学 (総合診療科、血液内科、糖尿病内分泌科)	155 人																												
看護師	九州看護福祉大学 九州中央リハビリテーション学院 玉名女子高校看護科、玉名女子高専攻科	1,453 人																												
リハビリ技師	九州看護福祉大学 九州中央リハビリテーション学院、 熊本保健科学大学、帝京大学 熊本総合リハビリテーション学院、 熊本駅前看護リハビリテーション学院	295 人																												
工学技士	熊本総合リハビリテーション学院	43 人																												
薬剤師	崇城大学	106 人																												
検査技師	熊本保健科学大学	98 人																												
栄養士	尚絅大学短期大学、中村学園大学 平岡学園、玉名女子高校	26 人																												
社会福祉士	九州看護福祉大学	42 人																												

第4 財政内容の改善に関する事項

1 経営基盤の強化 (1) 経営基盤の強化

中期目標	経常黒字が達成できる経営基盤を維持すること。また、意識改革のための環境を整備し経営マインドを醸成することによって、採算性の重視や経営状況の迅速な把握や対処が可能な健全な運営を行うこと
------	---

中期計画	年度計画	法人の自己評価																																																																					
		評価の判断理由(実施状況等)		評価																																																																			
<p>(1) 経営基盤の強化</p> <p>良質な医療を提供し続けていくため、経常収支比率100%を目指し、健全経営を継続する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織内における適切な権限委譲と責任を明確化し、高い機動性のもと経営改善を推進する。 ・効率的かつ効果的な経営マネジメント体制を整備する。 <p>経営に関する実績(公立玉名中央病院分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>101.3 %</td> <td>95.7 %</td> <td>101.6 %</td> <td>101.8 %</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>96.4 %</td> <td>93.0 %</td> <td>96.6 %</td> <td>99.3 %</td> </tr> <tr> <td>給与費比率</td> <td>64.2 %</td> <td>67.2 %</td> <td>61.2 %</td> <td>58.2 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>経営に関する目標値 (平成30年度以降は経営統合後の推定数値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29*</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>102.8 %</td> <td>100.0 %</td> <td>100.0 %</td> <td>100.0 %</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>98.7 %</td> <td>97.7 %</td> <td>97.7 %</td> <td>97.7 %</td> </tr> <tr> <td>給与費比率</td> <td>60.2 %</td> <td>61.0 %</td> <td>61.0 %</td> <td>61.0 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 平成29年度は平成29年10月から平成30年3月までの半期分</p>		H25	H26	H27	H28	経常収支比率	101.3 %	95.7 %	101.6 %	101.8 %	医業収支比率	96.4 %	93.0 %	96.6 %	99.3 %	給与費比率	64.2 %	67.2 %	61.2 %	58.2 %		H29*	H30	H31	H32	経常収支比率	102.8 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	医業収支比率	98.7 %	97.7 %	97.7 %	97.7 %	給与費比率	60.2 %	61.0 %	61.0 %	61.0 %	<p>(1) 経営基盤の強化(重点項目)</p> <p>・良質な医療を提供し続けていくため、経常収支比率100%以上を目指し、健全経営を継続する。</p> <p>《経営に関する目標値》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>参考値※</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>101.7%</td> <td>102.8%</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>99.3%</td> <td>98.7%</td> </tr> <tr> <td>給与費比率</td> <td>58.2%</td> <td>60.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※地方公営企業会計制度変更後の過去2年同期間の平均値を参考に設定した。</p> <p>○経常収支比率 = (営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)</p> <p>○医業収支比率 = 医業収益/(医業費用+一般管理費)</p> <p>○給与費比率 = (給与費(医業費用)+給与費(一般管理費))/医業収益</p>	項目	参考値※	目標値	経常収支比率	101.7%	102.8%	医業収支比率	99.3%	98.7%	給与費比率	58.2%	60.2%	<p>(1) 経営基盤の強化(重点項目)</p> <p>良質な医療を提供し続けていくため、経常収支比率100%以上を目指し新たな施設基準として認知症ケア加算1の届出等により収益の確保と費用の節減に取り組み、経常収支比率106.2%と目標を上回る健全経営が実施できた。</p> <p>《経営に関する目標値》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H29年度 目標値</th> <th>H29年度 実績</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>102.8 %</td> <td>106.2 %</td> <td>+ 3.4%</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>98.7 %</td> <td>100.9 %</td> <td>+ 2.2%</td> </tr> <tr> <td>給与費比率</td> <td>60.2 %</td> <td>58.9 %</td> <td>- 1.3%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	H29年度 目標値	H29年度 実績	比較	経常収支比率	102.8 %	106.2 %	+ 3.4%	医業収支比率	98.7 %	100.9 %	+ 2.2%	給与費比率	60.2 %	58.9 %	- 1.3%	4
	H25	H26	H27	H28																																																																			
経常収支比率	101.3 %	95.7 %	101.6 %	101.8 %																																																																			
医業収支比率	96.4 %	93.0 %	96.6 %	99.3 %																																																																			
給与費比率	64.2 %	67.2 %	61.2 %	58.2 %																																																																			
	H29*	H30	H31	H32																																																																			
経常収支比率	102.8 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %																																																																			
医業収支比率	98.7 %	97.7 %	97.7 %	97.7 %																																																																			
給与費比率	60.2 %	61.0 %	61.0 %	61.0 %																																																																			
項目	参考値※	目標値																																																																					
経常収支比率	101.7%	102.8%																																																																					
医業収支比率	99.3%	98.7%																																																																					
給与費比率	58.2%	60.2%																																																																					
項目	H29年度 目標値	H29年度 実績	比較																																																																				
経常収支比率	102.8 %	106.2 %	+ 3.4%																																																																				
医業収支比率	98.7 %	100.9 %	+ 2.2%																																																																				
給与費比率	60.2 %	58.9 %	- 1.3%																																																																				

第4 財政内容の改善に関する事項

1 経営基盤の強化 (2)役割と責任及び負担の明確化

中期目標	法人は独立採算であること。ただし、政策医療部門においては運営負担金のもと維持すること。
------	---

中期計画	年度計画	法人の自己評価	
		評価の判断理由(実施状況等)	評価
<p>(2) 役割と責任及び負担の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業経費については、法人の事業経営に伴う収入をもって充てる。 経常黒字が達成できる経営基盤を確立するため、経営改善のために取り組むべき課題を明確にし、増収及び費用削減に取り組む。 市町からの要請等に基づき提供する政策的医療のうち、効率的な経営を行ってもなお不採算となる部門(救急医療、小児医療等)の経費の一部は、運営負担金として市町の負担の基で継続する。 	<p>(2) 役割と責任及び負担の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業経費については、法人の事業経営に伴う収入をもって充てる。 経常黒字が達成できる経営基盤を確立するため、経営改善のために取り組むべき課題を明確にし、増収及び費用削減に取り組む。 市町からの要請等に基づき提供する政策的医療のうち、効率的な経営を行ってもなお不採算となる部門(救急医療、小児医療等)の経費の一部は、運営負担金として市町の負担の基で継続する。 	<p>(2)役割と責任及び負担の明確化</p> <p>事業経費については法人の事業経営に伴う収入をもって充てるとしているが、平成 29 年度は年度途中の法人化であったため、市町村からの負担金制度を継続した。</p> <p>平成 30 年度からは新病院建設事業が本格化するが、建設費用も含めた収支シミュレーションに沿った独立採算による健全経営に努める。</p>	3

第4 財政内容の改善に関する事項

2 収益の確保と費用の節減 (1) 収益の確保

中期目標	診療報酬改定など医業環境の変化に的確かつ迅速に対応するとともに、病床の効率的な活用や未収金回収の徹底など収益の確保および向上に努めること。
------	---

中期計画	年度計画	法人の自己評価																																																																																						
		評価の判断理由(実施状況等)		評価																																																																																				
<p>(1) 収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療報酬制度について熟知し、診療報酬改定や医業環境の変化に的確かつ迅速に対応出来る職員の育成に努める。 救急医療の強化、地域包括ケアシステムの構築を見据えた地域医療連携の推進を行い、外来・入院患者の確保に努める。 高度で専門的な医療の提供により診療単価のアップに努め、収益の確保を図る。 患者の病態に合った病床の効率的な活用に努める。 診療機能を充実する取組と合わせ、施設基準についても検討し、算定可能なものについては適宜届出を行うことで、収益の確保に努める。 未収金の対策として夜間救急における預り金の徹底や特命班による督促、法的措置も含めて回収にあたる。 <p>収益に関する実績(公立玉名中央病院分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床利用率</td> <td>85.7%</td> <td>78.8%</td> <td>87.9%</td> <td>93.7%</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価(一般)</td> <td>42,198円</td> <td>42,121円</td> <td>42,471円</td> <td>43,096円</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価(回復期)</td> <td>25,409円</td> <td>26,536円</td> <td>25,368円</td> <td>25,200円</td> </tr> <tr> <td>外来診療単価</td> <td>14,306円</td> <td>15,087円</td> <td>16,265円</td> <td>17,570円</td> </tr> </tbody> </table> <p>収益に関する目標値(公立玉名中央病院分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29*</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床利用率</td> <td>90.0%</td> <td>90.0%</td> <td>90.0%</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価(一般)</td> <td>43,000円</td> <td>43,000円</td> <td>43,000円</td> <td>43,000円</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価(回復期)</td> <td>25,200円</td> <td>25,200円</td> <td>25,200円</td> <td>25,200円</td> </tr> <tr> <td>外来診療単価</td> <td>17,200円</td> <td>17,000円</td> <td>17,000円</td> <td>17,000円</td> </tr> </tbody> </table>		H25	H26	H27	H28	病床利用率	85.7%	78.8%	87.9%	93.7%	入院診療単価(一般)	42,198円	42,121円	42,471円	43,096円	入院診療単価(回復期)	25,409円	26,536円	25,368円	25,200円	外来診療単価	14,306円	15,087円	16,265円	17,570円		H29*	H30	H31	H32	病床利用率	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	入院診療単価(一般)	43,000円	43,000円	43,000円	43,000円	入院診療単価(回復期)	25,200円	25,200円	25,200円	25,200円	外来診療単価	17,200円	17,000円	17,000円	17,000円	<p>(1) 収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療報酬制度について熟知し、診療報酬改定や医業環境の変化に的確かつ迅速に対応出来る職員の育成に努める。 救急医療の強化、地域包括ケアシステムの構築を見据えた地域医療連携の推進を行い、外来・入院患者の確保に努める。 高度で専門的な医療の提供により診療単価のアップに努め、収益の確保を図る。 患者の病態に合った病床の効率的な活用に努める。 診療機能を充実する取組と合わせ、施設基準についても検討し、算定可能なものについては適宜届出を行うことで、収益の確保に努める。 未収金の対策として夜間救急における預り金の徹底や特命班による督促、法的措置も含めて回収にあたる。 <p>《収益に関する目標値》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>参考値 ※</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床利用率</td> <td>86.8%</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価(一般)</td> <td>42,563円</td> <td>43,000円</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価(回復期)</td> <td>25,700円</td> <td>25,200円</td> </tr> <tr> <td>外来診療単価</td> <td>16,307円</td> <td>17,200円</td> </tr> </tbody> </table> <p>本期間は6ヶ月間のため、目標値は過去3年同期間の平均値(※)を参考に設定した。</p>	項目	参考値 ※	目標値	病床利用率	86.8%	90.0%	入院診療単価(一般)	42,563円	43,000円	入院診療単価(回復期)	25,700円	25,200円	外来診療単価	16,307円	17,200円	<p>(1) 収益の確保</p> <p>看護部、診療技術部、事務部、MSW で構成するベッドコントロールチームによる毎週の病棟ラウンド並びにカンファレンス等により患者の病態にあった病床の効率的な活用を行い、病床利用率と入院診療単価を向上させた。</p> <p>薬品納入では納入価格を極力抑えて外来診療における薬価差益約 3500 万円を確保した。</p> <p>検査の外部委託契約や診療材料納入契約でも契約コストを抑えることにより、それぞれに約 500 万と約 700 万円の差益を確保し効率的・効果的な病院運営を実施した。</p> <p>また、未収金対策班による未収金を発生させない請求方法や、発生後には分割回収も含めた各種回収活動により未収金減に向けた取組みを継続した結果、平成 29 年度の医療費貸倒を 100 万円以下におさえることができた。</p> <p>《収益に関する目標値》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H29 年度 目標値</th> <th>H29 年度 実績</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床利用率</td> <td>90.0 %</td> <td>93.4 %</td> <td>+ 3.4 %</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価(一般)</td> <td>43,000 円</td> <td>45,100 円</td> <td>+2,100 円</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価(回復期)</td> <td>25,200 円</td> <td>26,371 円</td> <td>+1,171 円</td> </tr> <tr> <td>外来診療単価</td> <td>17,200 円</td> <td>17,420 円</td> <td>+ 220 円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	H29 年度 目標値	H29 年度 実績	比較	病床利用率	90.0 %	93.4 %	+ 3.4 %	入院診療単価(一般)	43,000 円	45,100 円	+2,100 円	入院診療単価(回復期)	25,200 円	26,371 円	+1,171 円	外来診療単価	17,200 円	17,420 円	+ 220 円	4
	H25	H26	H27	H28																																																																																				
病床利用率	85.7%	78.8%	87.9%	93.7%																																																																																				
入院診療単価(一般)	42,198円	42,121円	42,471円	43,096円																																																																																				
入院診療単価(回復期)	25,409円	26,536円	25,368円	25,200円																																																																																				
外来診療単価	14,306円	15,087円	16,265円	17,570円																																																																																				
	H29*	H30	H31	H32																																																																																				
病床利用率	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%																																																																																				
入院診療単価(一般)	43,000円	43,000円	43,000円	43,000円																																																																																				
入院診療単価(回復期)	25,200円	25,200円	25,200円	25,200円																																																																																				
外来診療単価	17,200円	17,000円	17,000円	17,000円																																																																																				
項目	参考値 ※	目標値																																																																																						
病床利用率	86.8%	90.0%																																																																																						
入院診療単価(一般)	42,563円	43,000円																																																																																						
入院診療単価(回復期)	25,700円	25,200円																																																																																						
外来診療単価	16,307円	17,200円																																																																																						
項目	H29 年度 目標値	H29 年度 実績	比較																																																																																					
病床利用率	90.0 %	93.4 %	+ 3.4 %																																																																																					
入院診療単価(一般)	43,000 円	45,100 円	+2,100 円																																																																																					
入院診療単価(回復期)	25,200 円	26,371 円	+1,171 円																																																																																					
外来診療単価	17,200 円	17,420 円	+ 220 円																																																																																					

第4 財政内容の改善に関する事項
 2 収益の確保と費用の節減 (2)費用の節減

中期目標 効率的、効果的な業務運営を継続的に検討し、費用の節減に努めること。

中期計画	年度計画	法人の自己評価																																																				
		評価の判断理由(実施状況等)	評価																																																			
<p>(2)費用の節減</p> <p>効率的、効果的な業務運営を継続的に検討し、材料の購入にあたり価格交渉の徹底による購入単価の低減を図るとともに、後発医薬品の導入を推進するなど、材料費の節減に努める。</p> <p>また、委託業者や範囲の見直しによる委託費の節減を図る。</p> <p>費用の節減に関する実績(公立玉名中央病院分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料費比率</td> <td>20.6%</td> <td>21.9%</td> <td>22.4%</td> <td>26.1%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品割合</td> <td>29%</td> <td>37%</td> <td>61%</td> <td>85%</td> </tr> </tbody> </table> <p>費用の節減に関する目標値 (平成30年度以降は経営統合後の推定数値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料費比率</td> <td>25.6%</td> <td>22.0%</td> <td>22.0%</td> <td>22.0%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品割合</td> <td>85%</td> <td>85%</td> <td>85%</td> <td>85%</td> </tr> </tbody> </table>		H25	H26	H27	H28	材料費比率	20.6%	21.9%	22.4%	26.1%	後発医薬品割合	29%	37%	61%	85%		H29	H30	H31	H32	材料費比率	25.6%	22.0%	22.0%	22.0%	後発医薬品割合	85%	85%	85%	85%	<p>(2)費用の節減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的、効果的な業務運営を継続的に検討し、薬品等の購入にあたり価格交渉の徹底による購入単価の低減を図る。 ・後発医薬品の導入を推進する等、材料費の節減に努める。 ・物品の適正利用を管理し無駄を無くすため、物品管理システムを導入する。 ・委託業者や業務範囲の見直しにより委託費の節減を図る。 <p>《費用節減に関する目標値》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>参考値 ※</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料費比率</td> <td>23.5%</td> <td>25.6%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品割合</td> <td>85%</td> <td>85%</td> </tr> </tbody> </table> <p>本期間は6ヶ月間のため、目標値は過去3年同期間の平均値(※)を参考に設定した。</p> <p>○ 材料費比率 = 材料費 / 医業収益</p> <p>○ 材料費 = 薬品費 + 診療材料費 + 給食材料費</p>	項目	参考値 ※	目標値	材料費比率	23.5%	25.6%	後発医薬品割合	85%	85%	<p>(2)費用の節減</p> <p>後発医薬品の使用割合を目標値の85%から86.3%へと1.3%増加したことにより、支出を約100万円削減できた。</p> <p>また、本年度は平成30年4月からの運用開始を目指して物流管理システム導入準備業務を実施しており、同システム導入により部署毎に物品の使用量、在庫数、保険請求漏れ等のチェックがリアルタイムで可能となり、作業ミスの減少や作業精度の向上、効率化、適正在庫管理によるコスト削減が期待できる。</p> <p>《費用節減に関する目標値》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>年度目標値</th> <th>年度実績</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料費比率</td> <td>25.6 %</td> <td>23.5 %</td> <td>- 2.1%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品割合</td> <td>85.0 %</td> <td>86.3 %</td> <td>+ 1.3%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	年度目標値	年度実績	比較	材料費比率	25.6 %	23.5 %	- 2.1%	後発医薬品割合	85.0 %	86.3 %	+ 1.3%	4
	H25	H26	H27	H28																																																		
材料費比率	20.6%	21.9%	22.4%	26.1%																																																		
後発医薬品割合	29%	37%	61%	85%																																																		
	H29	H30	H31	H32																																																		
材料費比率	25.6%	22.0%	22.0%	22.0%																																																		
後発医薬品割合	85%	85%	85%	85%																																																		
項目	参考値 ※	目標値																																																				
材料費比率	23.5%	25.6%																																																				
後発医薬品割合	85%	85%																																																				
項目	年度目標値	年度実績	比較																																																			
材料費比率	25.6 %	23.5 %	- 2.1%																																																			
後発医薬品割合	85.0 %	86.3 %	+ 1.3%																																																			

第5 その他業務運営に関する重要事項

1 経営統合に向けた準備

中期目標	平成28年8月に公立玉名中央病院と玉名地域保健医療センターの間で締結された病院経営統合に関する基本協定書に基づいて、病院経営統合に向けた準備を進めること。
------	---

中期計画	年度計画	人の自己評価	
		評価の判断理由(実施状況等)	評価
<p>1 経営統合に向けた準備</p> <p>平成28年8月に当院と玉名地域保健医療センターの間で締結された病院経営統合に関する基本協定書に基づいて経営統合に向けた準備に努める。</p>	<p>1 経営統合に向けた準備</p> <p>平成28年8月に当院と玉名地域保健医療センターの間で締結された病院経営統合に関する基本協定書に基づいて経営統合に向けた準備に努める。</p>	<p>1 経営統合に向けた準備</p> <p>平成30年4月の経営統合のため管轄保健所への病院開設許可再申請及び九州厚生局への施設基準再届出、その他関係各機関への許認可申請など機構としての2病院体制に向けた準備を滞りなく完了した。</p> <p>今後は人事交流等を適時に実施し機能強化を図る。</p>	3

第5 その他業務運営に関する重要事項

2 新病院の施設整備に向けた準備

中期目標	地域に必要な医療を安定的に提供していくため、検討が進められている新病院の施設整備に向けた準備に積極的に取り組むこと。
------	--

中期計画	年度計画	法人の自己評価	
		評価の判断理由(実施状況等)	評価
<p>2 新病院の施設整備に向けた準備</p> <p>平成32年度末開院予定の新病院には現状の課題を踏まえ、患者にとって良好な受療環境を整え、職員にとっては働きやすい職場環境を考慮した基本設計を行う。</p>	<p>2 新病院の施設整備に向けた準備</p> <p>・平成32年度末開院予定の新病院には現状の課題を踏まえ、患者にとって良好な受療環境を整え、職員にとっては働きやすい職場環境を考慮した基本設計を行う。</p>	<p>2 新病院の施設整備に向けた準備</p> <p>402床の新病院建設事業において平成29年度は玉名小学校に隣接する建設予定地を取得し、同地の開発許可申請や農振除外・農地転用、測量試験・造成設計並びに地下埋蔵文化財試掘調査を実施した。平成30年には設計施工業者を選定し平成33年4月開院を目指す。</p> <p>新病院完成までは2病院体制で医療資源の集約や効率化を図り安定的な医療提供に努める。</p>	3

第6 予算、収支計画および資金計画

中期計画		法人の自己評価																																																																																																																																																																																							
		評価の判断理由(実施状況等)			評価																																																																																																																																																																																				
1 予算(平成29年度から平成32年度までとし平成 30 年度以降は経営統合後の推定数値)		平成 29 年度収支実績																																																																																																																																																																																							
(単位百万円)		(単位：百万円)																																																																																																																																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>26,279</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>26,018</td> </tr> <tr> <td> 入院収益</td> <td>18,262</td> </tr> <tr> <td> 外来収益</td> <td>6,342</td> </tr> <tr> <td> その他の医業収益</td> <td>1,414</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>261</td> </tr> <tr> <td> 補助金等収益</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>1,902</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>1,176</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>726</td> </tr> <tr> <td> 臨時収益</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>17,275</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>179</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>17,076</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>45,456</td> </tr> </tbody> </table>		区分	金額	収入		営業収益	26,279	医業収益	26,018	入院収益	18,262	外来収益	6,342	その他の医業収益	1,414	運営費負担金	261	補助金等収益	0	営業外収益	1,902	運営費負担金	1,176	その他営業外収益	726	臨時収益	0	資本収入	17,275	運営費負担金	179	長期借入金	17,076	その他資本収入	20	計	45,456	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>25,913</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>24,580</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>14,874</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>6,172</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>3,440</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>1,333</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>1,080</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>253</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 営業外費用</td> <td>215</td> </tr> <tr> <td> 支払利息</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td> その他営業外費用</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td> 臨時損失</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 資本支出</td> <td>19,086</td> </tr> <tr> <td> 建設改良費</td> <td>18,543</td> </tr> <tr> <td> 償還金</td> <td>543</td> </tr> <tr> <td> その他資本支出</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>45,214</td> </tr> </tbody> </table>		区分	金額	支出		営業費用	25,913	医業費用	24,580	給与費	14,874	材料費	6,172	経費	3,440	その他	94	一般管理費	1,333	給与費	1,080	経費	253	その他	0	営業外費用	215	支払利息	76	その他営業外費用	139	臨時損失	0	資本支出	19,086	建設改良費	18,543	償還金	543	その他資本支出	0	計	45,214	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>最終予算額 (計画)</th> <th>決算額 (実績)</th> <th>増減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">収益</td> <td rowspan="4">営業収益</td> <td>医業収益</td> <td>3421</td> <td>3461</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>運営費負担金収益</td> <td>190</td> <td>278</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>補助金等収益</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>資産見返負債戻入</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>3616</td> <td>3753</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">営業外収益</td> <td>運営費負担金収益</td> <td>88</td> <td>0</td> <td>-88</td> </tr> <tr> <td>その他営業外収益</td> <td>14</td> <td>35</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>102</td> <td>35</td> <td>-67</td> </tr> <tr> <td>臨時利益</td> <td>臨時利益</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>3718</td> <td>3791</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">費用</td> <td rowspan="3">営業費用</td> <td>医業費用</td> <td>3536</td> <td>3429</td> <td>-107</td> </tr> <tr> <td>一般管理費</td> <td>138</td> <td>137</td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>3674</td> <td>3566</td> <td>-108</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">営業外費用</td> <td>財務費用</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他営業外費用</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>臨時損失</td> <td>臨時損失</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>3675</td> <td>3718</td> <td>-104</td> </tr> <tr> <td colspan="3">経常利益</td> <td>43</td> <td>221</td> <td>178</td> </tr> <tr> <td colspan="3">当期純利益</td> <td>43</td> <td>220</td> <td>177</td> </tr> </tbody> </table>		区分	款	項	最終予算額 (計画)	決算額 (実績)	増減額	収益	営業収益	医業収益	3421	3461	40	運営費負担金収益	190	278	88	補助金等収益	0	9	9	資産見返負債戻入	5	5	0	小計		3616	3753	137	営業外収益	運営費負担金収益	88	0	-88	その他営業外収益	14	35	21	小計	102	35	-67	臨時利益	臨時利益	0	3	3	計		3718	3791	73	費用	営業費用	医業費用	3536	3429	-107	一般管理費	138	137	-1	小計	3674	3566	-108	営業外費用	財務費用	1	1	0	その他営業外費用	0	0	0	小計	1	1	0	臨時損失	臨時損失	0	4	4	計		3675	3718	-104	経常利益			43	221	178	当期純利益			43	220	177	4
区分	金額																																																																																																																																																																																								
収入																																																																																																																																																																																									
営業収益	26,279																																																																																																																																																																																								
医業収益	26,018																																																																																																																																																																																								
入院収益	18,262																																																																																																																																																																																								
外来収益	6,342																																																																																																																																																																																								
その他の医業収益	1,414																																																																																																																																																																																								
運営費負担金	261																																																																																																																																																																																								
補助金等収益	0																																																																																																																																																																																								
営業外収益	1,902																																																																																																																																																																																								
運営費負担金	1,176																																																																																																																																																																																								
その他営業外収益	726																																																																																																																																																																																								
臨時収益	0																																																																																																																																																																																								
資本収入	17,275																																																																																																																																																																																								
運営費負担金	179																																																																																																																																																																																								
長期借入金	17,076																																																																																																																																																																																								
その他資本収入	20																																																																																																																																																																																								
計	45,456																																																																																																																																																																																								
区分	金額																																																																																																																																																																																								
支出																																																																																																																																																																																									
営業費用	25,913																																																																																																																																																																																								
医業費用	24,580																																																																																																																																																																																								
給与費	14,874																																																																																																																																																																																								
材料費	6,172																																																																																																																																																																																								
経費	3,440																																																																																																																																																																																								
その他	94																																																																																																																																																																																								
一般管理費	1,333																																																																																																																																																																																								
給与費	1,080																																																																																																																																																																																								
経費	253																																																																																																																																																																																								
その他	0																																																																																																																																																																																								
営業外費用	215																																																																																																																																																																																								
支払利息	76																																																																																																																																																																																								
その他営業外費用	139																																																																																																																																																																																								
臨時損失	0																																																																																																																																																																																								
資本支出	19,086																																																																																																																																																																																								
建設改良費	18,543																																																																																																																																																																																								
償還金	543																																																																																																																																																																																								
その他資本支出	0																																																																																																																																																																																								
計	45,214																																																																																																																																																																																								
区分	款	項	最終予算額 (計画)	決算額 (実績)	増減額																																																																																																																																																																																				
収益	営業収益	医業収益	3421	3461	40																																																																																																																																																																																				
		運営費負担金収益	190	278	88																																																																																																																																																																																				
		補助金等収益	0	9	9																																																																																																																																																																																				
		資産見返負債戻入	5	5	0																																																																																																																																																																																				
	小計		3616	3753	137																																																																																																																																																																																				
	営業外収益	運営費負担金収益	88	0	-88																																																																																																																																																																																				
		その他営業外収益	14	35	21																																																																																																																																																																																				
		小計	102	35	-67																																																																																																																																																																																				
	臨時利益	臨時利益	0	3	3																																																																																																																																																																																				
	計		3718	3791	73																																																																																																																																																																																				
費用	営業費用	医業費用	3536	3429	-107																																																																																																																																																																																				
		一般管理費	138	137	-1																																																																																																																																																																																				
		小計	3674	3566	-108																																																																																																																																																																																				
	営業外費用	財務費用	1	1	0																																																																																																																																																																																				
		その他営業外費用	0	0	0																																																																																																																																																																																				
	小計	1	1	0																																																																																																																																																																																					
	臨時損失	臨時損失	0	4	4																																																																																																																																																																																				
計		3675	3718	-104																																																																																																																																																																																					
経常利益			43	221	178																																																																																																																																																																																				
当期純利益			43	220	177																																																																																																																																																																																				
<p>(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。 期間中の診療報酬改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。</p>		<p>・経常利益は 221 百万円で、計画を 178 百万円上回り、経常収支比率 100% 以上(106.20%)を達成した。 ・当期純利益は 220 百万円で、計画を 177 百万円上回った。</p>																																																																																																																																																																																							

中期計画		人の自己評価																																																																																																				
		評価の判断理由(実施状況等)				評価																																																																																																
2 収支計画 (平成29年度から平成32年度までとし平成30年度以降は経営統合後の推定数値)		2)資本的収支 (単位：百万円)																																																																																																				
(単位百万円)		(単位：百万円)																																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益の部</td> <td>28,059</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>26,192</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>25,931</td> </tr> <tr> <td> 入院収益</td> <td>18,262</td> </tr> <tr> <td> 外来収益</td> <td>6,342</td> </tr> <tr> <td> その他医業収益</td> <td>1,327</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>261</td> </tr> <tr> <td> 補助金等収益</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>1,867</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>1,176</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>691</td> </tr> <tr> <td> 臨時収益</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		区分	金額	収益の部	28,059	営業収益	26,192	医業収益	25,931	入院収益	18,262	外来収益	6,342	その他医業収益	1,327	運営費負担金	261	補助金等収益	0	営業外収益	1,867	運営費負担金	1,176	その他営業外収益	691	臨時収益	0	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用の部</td> <td>29,096</td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>26,618</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>25,219</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>14,874</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>5,884</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>3,280</td> </tr> <tr> <td> 減価償却費</td> <td>1,090</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>1,399</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>1,080</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td> 減価償却費</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 営業外費用</td> <td>1,122</td> </tr> <tr> <td> 支払利息</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td> その他営業外費用</td> <td>1,046</td> </tr> <tr> <td> 臨時損失</td> <td>1,356</td> </tr> <tr> <td> 固定資産除却損</td> <td>176</td> </tr> <tr> <td> その他臨時損失</td> <td>1,180</td> </tr> <tr> <td>純利益</td> <td>△1,037</td> </tr> <tr> <td> 目的別積立金取崩額</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>総利益</td> <td>△1,037</td> </tr> </tbody> </table>					区分	金額	費用の部	29,096	営業費用	26,618	医業費用	25,219	給与費	14,874	材料費	5,884	経費	3,280	減価償却費	1,090	その他	91	一般管理費	1,399	給与費	1,080	経費	240	減価償却費	79	その他	0	営業外費用	1,122	支払利息	76	その他営業外費用	1,046	臨時損失	1,356	固定資産除却損	176	その他臨時損失	1,180	純利益	△1,037	目的別積立金取崩額	0	総利益	△1,037																								
区分	金額																																																																																																					
収益の部	28,059																																																																																																					
営業収益	26,192																																																																																																					
医業収益	25,931																																																																																																					
入院収益	18,262																																																																																																					
外来収益	6,342																																																																																																					
その他医業収益	1,327																																																																																																					
運営費負担金	261																																																																																																					
補助金等収益	0																																																																																																					
営業外収益	1,867																																																																																																					
運営費負担金	1,176																																																																																																					
その他営業外収益	691																																																																																																					
臨時収益	0																																																																																																					
区分	金額																																																																																																					
費用の部	29,096																																																																																																					
営業費用	26,618																																																																																																					
医業費用	25,219																																																																																																					
給与費	14,874																																																																																																					
材料費	5,884																																																																																																					
経費	3,280																																																																																																					
減価償却費	1,090																																																																																																					
その他	91																																																																																																					
一般管理費	1,399																																																																																																					
給与費	1,080																																																																																																					
経費	240																																																																																																					
減価償却費	79																																																																																																					
その他	0																																																																																																					
営業外費用	1,122																																																																																																					
支払利息	76																																																																																																					
その他営業外費用	1,046																																																																																																					
臨時損失	1,356																																																																																																					
固定資産除却損	176																																																																																																					
その他臨時損失	1,180																																																																																																					
純利益	△1,037																																																																																																					
目的別積立金取崩額	0																																																																																																					
総利益	△1,037																																																																																																					
注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>最終予算額 (計画)</th> <th>決算額 (実績)</th> <th>増減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">収入</td> <td rowspan="4">資本収入</td> <td>運営費負担金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他資本収入</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">支出</td> <td rowspan="4">資本支出</td> <td>建設改良費</td> <td>440</td> <td>439</td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td>償還金</td> <td>89</td> <td>89</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他資本支出</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>529</td> <td>528</td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td colspan="3">総収支</td> <td>-529</td> <td>-528</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p> ・29年度の建設改良費は439百万円で、その内訳は、土地409百万円、機械備品30百万円であり、機械備品については3D内視鏡システム13百万円、物流システム11百万円等計5点となる。 ・土地409百万円については自己資本にて取得しており、資本的収入は無い。 ・償還金89百万円については、移行前企業債償還にかかる元金部分である。 </p> <p>(決算指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>項目</th> <th>目標値</th> <th>H29実績</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">収支構造</td> <td>経常収支比率</td> <td>102.8%</td> <td>106.2%</td> <td>3.4</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>98.7%</td> <td>100.9%</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>実質収益対経常費用比率</td> <td>—</td> <td>98.4%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">医業収入構成</td> <td>入院収益</td> <td>—</td> <td>66.0%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>外来収益</td> <td>—</td> <td>27.6%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>その他医業収益</td> <td>—</td> <td>6.4%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">費用構造</td> <td>職員給与費率</td> <td>60.2%</td> <td>58.9%</td> <td>-1.3</td> </tr> <tr> <td>材料費比率</td> <td>25.6%</td> <td>23.5%</td> <td>-2.1</td> </tr> <tr> <td>経費比率</td> <td>—</td> <td>12.8%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>減価償却費率</td> <td>—</td> <td>5.0%</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p> ・収支構造の各指標は、経常収支比率が第1期年度計画の目標である102.8%を上回る106.2%で計画を3.4ポイント上回り、医業収支比率も2.2ポイント上回った。 ・費用構造では、職員給与比率、材料比率はそれぞれ1.3ポイント、2.1ポイント下回った。 </p>					区分	款	項	最終予算額 (計画)	決算額 (実績)	増減額	収入	資本収入	運営費負担金	0	0	0	長期借入金	0	0	0	その他資本収入	0	0	0	計	0	0	0	支出	資本支出	建設改良費	440	439	-1	償還金	89	89	0	その他資本支出	0	0	0	計	529	528	-1	総収支			-529	-528	1	区分	項目	目標値	H29実績	増減	収支構造	経常収支比率	102.8%	106.2%	3.4	医業収支比率	98.7%	100.9%	2.2	実質収益対経常費用比率	—	98.4%	—	医業収入構成	入院収益	—	66.0%	—	外来収益	—	27.6%	—	その他医業収益	—	6.4%	—	費用構造	職員給与費率	60.2%	58.9%	-1.3	材料費比率	25.6%	23.5%	-2.1	経費比率	—	12.8%	—	減価償却費率	—	5.0%	—
区分	款	項	最終予算額 (計画)	決算額 (実績)	増減額																																																																																																	
収入	資本収入	運営費負担金	0	0	0																																																																																																	
		長期借入金	0	0	0																																																																																																	
		その他資本収入	0	0	0																																																																																																	
		計	0	0	0																																																																																																	
支出	資本支出	建設改良費	440	439	-1																																																																																																	
		償還金	89	89	0																																																																																																	
		その他資本支出	0	0	0																																																																																																	
		計	529	528	-1																																																																																																	
総収支			-529	-528	1																																																																																																	
区分	項目	目標値	H29実績	増減																																																																																																		
収支構造	経常収支比率	102.8%	106.2%	3.4																																																																																																		
	医業収支比率	98.7%	100.9%	2.2																																																																																																		
	実質収益対経常費用比率	—	98.4%	—																																																																																																		
医業収入構成	入院収益	—	66.0%	—																																																																																																		
	外来収益	—	27.6%	—																																																																																																		
	その他医業収益	—	6.4%	—																																																																																																		
費用構造	職員給与費率	60.2%	58.9%	-1.3																																																																																																		
	材料費比率	25.6%	23.5%	-2.1																																																																																																		
	経費比率	—	12.8%	—																																																																																																		
	減価償却費率	—	5.0%	—																																																																																																		

中期計画				法人の自己評価	
				評価の判断理由(実施状況等)	評価
3 資金計画(平成29年度から平成32年度までとし平成30年度以降は経営統合後の推定数値) (単位百万円)					
区分	金額	区分	金額	<p>【収支構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経常収支比率 $\text{経常収益} \div \text{経常費用} \times 100$ 病院が安定した経営を行うための財政基盤を確保するための指標で、適正な区分負担を前提として100%以上が望ましい。 ・医業収支比率 $\text{医業収益} \div \text{医業費用} \times 100$ 医業費用が医業収益によってどの程度賄われているかを示す指標で、100%以上が望ましい。 ・実質収益対経常費用比率 $(\text{経常収益} - \text{運営費負担金}) \div \text{経常費用} \times 100$ 経常費用が経常収益から運営費負担金を引いた実質収益によって、どの程度賄われているかを示す指標。 <p>【費用構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員給与比率(職員給与費対医業収益比率) 病院の職員数等が適正かどうかを判断する指標 ・材料費比率(材料費対医業収益比率) この比率が高い場合、材料費の購入価格(方法)を見直し、材料費の削減を図る必要がある。 (薬品・診療材料・その他) ・経費比率(経費対医業収益比率)、減価償却費率(減価償却費対医業収益比率) 病院経営上適切な固定資産の保有や経費計上がなされているかを判断する指標 	
資金収入	45,456	資金支出	45,214		
業務活動による収入	28,201	業務活動による支出	26,128		
診療業務による収入	26,018	給与費支出	15,954		
運営費負担金等による収入	1,457	材料費支出	6,172		
補助金等による収入	0	その他の業務活動による支出	4,002		
その他の業務活動による収入	726	投資活動による支出	18,543		
投資活動による収入	179	有形固定資産の取得による支出	18,543		
運営費負担金等による収入	179	その他の投資活動による支出	0		
その他の投資活動による収入	0	財務活動による支出	543		
財務活動による収入	17,076	長期借入返済による支出	0		
長期借入による収入	17,076	移行前地方債償還債務償還による支出	543		
その他財務活動による収入	0	その他財務活動による支出	0		
前期からの繰入金	0	次期中期目標の期間への繰越金	242		
(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。					

第7 短期借入金の限度額		
中期計画	法人の自己評価	
	評価の判断理由(実施状況等)	評価
短期借入金の限度額 1 限度額 1,000 百万円とする。 2 想定される短期借入金の発生事由 (1)業績手当(賞与)の支給等による一時的な資金不足への対応 (2)予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応	短期借入金の限度額 平成29年度は年度計画で想定された短期借入金を要する資金不足の状況は発生せず、事業資金は自己資金で賄った。	3

第8 短期借入金の限度額		
中期計画	法人の自己評価	
	評価の判断理由(実施状況等)	評価
重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画	重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときの計画 該当なし。	3

第9 剰余金の使途		
中期計画	法人の自己評価	
	評価の判断理由(実施状況等)	評価
計画期間中の毎事業年度の決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備・改修、医療機器の購入、長期借入金の償還、教育・研修体制の充実、組織運営の向上策等に充てる。	平成29年度は剰余を生じたので、平成30年度以降、病院施設の整備・改修や医療機器の購入など組織運営の向上策等に充てる予定である。	3

第10 料金に関する事項 1 診療料等		
中期計画	法人の自己評価	
	評価の判断理由(実施状況等)	評価
病院の診療料及びその他の諸料金(以下「診療料等」)は次に定める額とする。 (1) 健康保険法(大正11年法律第70号)第76条第2項(同法第149条において準用する場合を含む。)及び高齢者の医療の保に関する法律(昭和57年法律第80号)第71条第1項の規定に基づく方法により算定した額 (2) 健康保険法第85条第2項及び第85条の2第2項(これらの規定を同法第149条において準用する場合を含む。)並びに高齢者の医療の確保に関する法律第74条第2項及び第75条第2項の規定に基づく基準により算定した額 (3) (1)及び(2)の規定にかかわらず、特に費用を要するものは、実費相当額若しくは理事長が別に定める額又はその契約に定めるところによる。この場合において、理事長は、公共性・経済性の観点から総合的に勘案して定めるものとする。 (4) 既に納めた診療料等については、返還しない。ただし、理事長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。	1 診療料等 病院の診療料及びその他の諸料金は年度計画のとおりで変更はなかった。	3

第 10 料金に関する事項 2 料金の減免又は徴収の猶予等		
中期計画	法人の自己評価	
	評価の判断理由(実施状況等)	評価
2 料金の減免又は徴収の猶予等 理事長は、特別の事由があると認めるときは、別に定めるところにより診療料等の減免又は徴収の猶予をすることができる	2 料金の減免又は徴収の猶予等 平成 29 年度に対象事例はなかった。	3

第 11 地方独立行政法人くまもと県北病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項		
中期計画	法人の自己評価	
	評価の判断理由(実施状況等)	評価
<p>1 地域の医療水準向上への貢献に関する計画 地域医療支援病院、災害拠点病院、救急告示病院としての役割を充実させる</p> <p>2 施設及び設備に関する計画 現在の施設・設備については計画的に必要な改修・改善を実施し、これまでの問題や課題等を新病院の実施設計に反映させる。</p> <p>3 法第40条第4項の規定により業務の財源に充てることができる積立金の処分に関する計画 中期目標期間繰越積立金については、病院施設・設備の整備・改修、医療機器等の購入、長期借入金の償還、人材確保事業及び人材教育事業の充実に充てる。</p> <p>4 前各号に掲げるもののほか、法人の業務運営に関し必要な事項 保健医療に関する専門的な知識を公開講座の実施やホームページ等により情報発信し、普及啓発活動を実施するとともに診療の透明性の確保を図るため治療成績や臨床指標を公表する。</p>	<p>1 地域の医療水準向上への貢献に関する計画 地域医療支援病院として紹介率 63.3%逆紹介率 94.3%を達成すると共に、開放病床の利用率が増加したため申請病床を 12 床から 26 床へ増床した。災害拠点病院としては保有する DMAT 隊を中心に院内訓練の実施ほか玉名市の防災訓練などの外部活動にも積極的に参加した。 救急告示病院としては救急外来利用者数が 15,914 人と過去最高であった。</p> <p>2 施設及び設備に関する計画 患者サービスの向上を目的とし業務改善委員会を中心に患者満足度調査を実施し、見えにくい・分かりづらいのご意見を受け、院内表示板の文字を大きくし統一感のあるものに変更した。 また、院内の洋式トイレ全てに温水機能を備えたウォシュレットを設置し快適な医療環境の提供に努めた。 懸案の駐車場不足対策として通勤距離 1.5 km未満の職員の車両乗入れ禁止を継続し、職員用駐車場を借上げて患者用駐車場の安定確保に努めた。</p> <p>3 法第40条第4項の規定により業務の財源に充てることができる積立金の処分に関する計画 本年度は中期目標期間の初年度であり中期目標期間繰越積立金はない。</p> <p>4 前各号に掲げるもののほか、法人の業務運営に関し必要な事項 保健医療に関する専門的な知識を公開講座の実施やホームページ等により情報発信し、普及啓発活動を実施するとともに診療の透明性の確保を図るため治療成績や臨床指標を公表する。</p>	3